



**Wi-Fi STATION**

SH-05L

取扱説明書

# はじめに

「SH-05L」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

## 取扱説明書について

### ■ かんたんセットアップマニュアル(本体付属品)

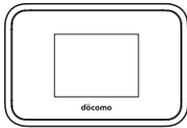
本端末とパソコン、ゲーム機やiPhoneなどの接続方法について説明しています。

### ■ 取扱説明書(PDFファイル)

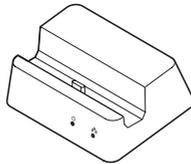
機能の詳しい案内や操作について説明しています。  
ドコモのホームページでダウンロードできます。

- 本書においては、「SH-05L」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

## 本体付属品



本体



クレードル SH01  
(保証書付き)



SIM取り出しツール(試供品)



かんたんセットアップ  
マニュアル



ご利用にあたっての注意事項



無線LAN初期設定シール

- 本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。  
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

## 目次

本端末のご利用について	2
SH-05Lの主な機能	3
安全上のご注意(必ずお守りください)	5
取り扱い上のご注意	10

## ご使用前の確認

各部の名称と機能	13
ドコモnanoUIMカード	14
充電	17
電源を入れる/切る	20
画面の見かた	21
タッチパネルの使いかた	22
数字の入力	22

## セットアップ

セットアップについて	23
Wi-Fiで接続/通信する	25
USB接続ケーブルで接続/通信する	47
クレードルを使用して接続/通信する	48

## 各種設定(Webブラウザ)

設定ツールについて	49
接続端末	51
ネットワーク	52
設定	53
端末情報	58

## 各種設定(本体メニュー)

本端末の本体メニューについて	59
データ通信量	60
モバイル給電	60
設定	61

## 海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要	63
海外で利用可能なサービス	63
海外でご利用になる前に	63
海外で利用するための設定	64
帰国後の確認	64

## 付録/索引

メニュー一覧	65
トラブルシューティング(FAQ)	70
保証とアフターサービス	72
ソフトウェア更新	73
主な仕様	75
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	77
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals	78
CAUTION	81
Inquiries	81
輸出管理規制	82
知的財産権について	82
SIMロック解除	82
索引	83

## 本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[ ]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に設定された内容は、定期的にメモを取ったり、パソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、データ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 紛失に備え[画面ロック]のパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- サービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

## SH-05Lの主な機能

本端末のLTE通信は、PREMIUM 4G® (LTE-Advanced)に対応しています。PREMIUM 4Gでは受信時最大988Mbpsの高速通信が可能となります。

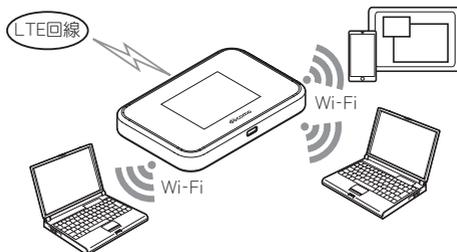
本端末は、Wi-Fi機能により複数のパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器と同時に接続できます。また、USB接続ケーブルでパソコンと接続してデータの送受信をしたり、クレードルを使用して有線ルータとして使用したりできます。

- 通信速度について詳しくは、「主な仕様」(P.75)をご参照ください。

### ■ Wi-Fi接続

本端末とWi-Fi対応機器(パソコンやゲーム機など)を接続し、データの送受信ができます。

本端末はWi-Fi対応機器を同時に10台まで接続できます。

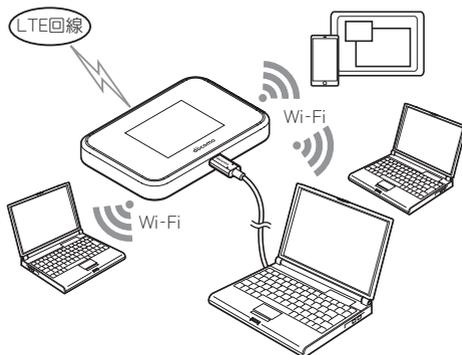


### ■ USB接続ケーブルで接続／通信

本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続し、データの送受信ができます。

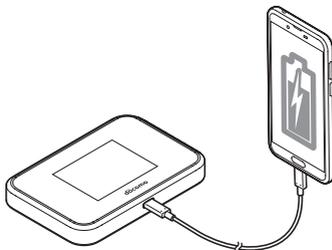
Wi-Fi接続とUSB接続を同時に利用することもできます。

USB接続ケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器をWi-Fi接続することができます。



### ■ モバイル給電対応

USBケーブル C to C 02(別売)で本端末とお使いのスマートフォン、タブレットなどを接続して充電することができます。



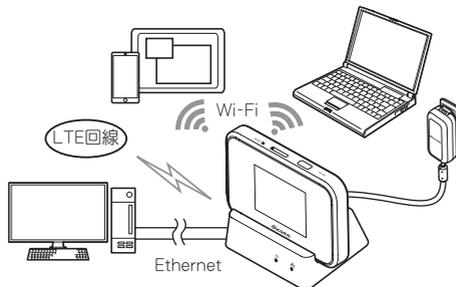
## ■ 有線LANポート搭載クレードル

付属のクレードル SH01に市販のLANケーブルでパソコンなどと接続すると、データの送受信ができます。

Wi-Fi接続とLAN接続を同時に利用することもできます。

LANケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器をWi-Fi接続することができます。

- クレードルは、必ずACアダプタ 07(別売)を使って、コンセントに接続してお使いください。



## ■ QRコード&WPS接続対応

本端末にQRコードを表示して、スマートフォンなどのカメラで読み取る\*とかんたんにWi-Fi接続することができます。

また、WPS接続に対応しているので、WPSキーによる接続ができます。

はじめて接続するWi-Fi対応機器でも、戸惑わず、すぐ接続して使えます。

※ご利用のAndroid™スマートフォンにインストールされているQRコードリーダーでは、Wi-Fi設定を自動で設定できない場合があります。下記からQRコードリーダーをインストールしてください。

[http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh051/peripherals/qrapl.html?utm\\_source=guide&utm\\_medium=qrsh05l&utm\\_campaign=product\\_leaf](http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh051/peripherals/qrapl.html?utm_source=guide&utm_medium=qrsh05l&utm_campaign=product_leaf)



## 安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 <sup>(※1)</sup> を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 <sup>(※1)</sup> を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 <sup>(※2)</sup> を負う可能性が想定される場合および物的損害 <sup>(※3)</sup> の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

# 本端末、アダプタ、クレードル、ドコモ nanoUIMカードの取り扱いについて (共通)

## ⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたリ、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください(たいがい例)

- スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

## ⚠警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリケースから抜く。
  - 本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

## ⚠注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。ドコモnanoUIMカードトレイやSIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

データ通信など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。  
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください  
例  
補聴器、挿込み型心臓ペースメーカおよび挿込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など、挿込み型心臓ペースメーカおよび挿込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

## 本端末の取り扱いについて

### ⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

### ⚠警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やホチキスの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切ってください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

ディスプレイなどを破損した際には、破損部や露出した本端末の内部にご確認ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

### ⚠注意



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などに触れないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

ドコモnanoUIMカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。  
【P.9「材質一覧」】



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所、ある程度の距離をとってください。暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

## アダプタ、クレードルの取り扱いについて



**警告**



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末やクレードルにアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、クレードルに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

DCアダプタ: DC12V・24V(マイナスアース車専用)



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末やクレードルにアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

## 注意



コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

## ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

## 注意



ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

## 警告



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## 材質一覧

### 端末

使用箇所	材質/表面処理
ディスプレイパネル	アクリル樹脂+PC樹脂/ハードコート
外装(前面/側面)	PC樹脂/塗装、ハードコート、印刷
外装(背面)	PC樹脂/塗装、ハードコート、印刷
電源キー	PC樹脂/塗装、ハードコート
USB Type-C™接続端子の周囲(内側側面)	ステンレス
ドコモnanoUIMカードトレイ(外装部)	PC樹脂/塗装、ハードコート
ドコモnanoUIMカードトレイ	PC樹脂
IMEIプレート	PET樹脂/印刷
IMEIラベル	PET樹脂/印刷

### クレードル SH01

使用箇所	材質/表面処理
上キャビネット	PC樹脂/印刷
USB Type-Cプラグ(樹脂部)	LCP樹脂
USB Type-Cプラグ(金属部)	ステンレス
電源ランプ	PC樹脂
Ethernetランプ	PC樹脂
下キャビネット	PC樹脂
Ethernetポート(端子部)	リン青銅/金メッキ
Ethernetポート(金属部)	ステンレス
Ethernetポート(樹脂部)	ポリアミド
電源用USB Type-C接続端子(樹脂部)	LCP樹脂
電源用USB Type-C接続端子(金属部)	ステンレス
ゴム底	シリコンゴム
規格銘板ラベル	PET樹脂/印刷

### SIM取り出しツール

使用箇所	材質/表面処理
本体	ステンレス

## 試供品(SIM取り出しツール)の取り扱いについて

## 警告



SIM取り出しツールの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

けがや失明などの原因となります。

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

- **水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)をかけないでください。**  
本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカード、ワレードルは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ」・「修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
  - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**  
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**  
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**  
多くのがたまった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**  
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**  
故障、破損の原因となります。

## 本端末についてのおお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**  
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**  
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に設定された内容は、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**  
万一が設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**  
故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **通常はドコモnanoUIMカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**  
水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**  
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ」・「修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
  - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
  - ・ 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池



本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1～13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

### ● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

### ● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

ご利用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にてご使用ください。また、USB接続ケーブルを利用してUSB接続やクレードルを利用して有線LAN接続で通信していただくことも可能です。

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています。

Wi-Fi 5GHz帯のW53/W56利用時は気象レーダーなどとの電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する場合があります。その場合通信が一時的に切断されます(DFS機能)。

## 電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認ください。ご確認ください。

ホーム画面で「端末情報」

## 試供品(SIM取り出しツール)についてお願い

- SIM取り出しツールを、ドコモnanoUIMカードトレイ取り出し用の穴、RESETボタンの穴以外の穴などに挿入しないでください。

故障、破損の原因となります。

- 無理な力がかからないように使用してください。

故障、破損の原因となります。

- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。

- SIM取り出しツールは本書に記載の使用目的以外では使用しないでください。

故障、破損の原因となります。

- SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。

携帯端末の故障、破損の原因となります。

## 注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で「端末情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

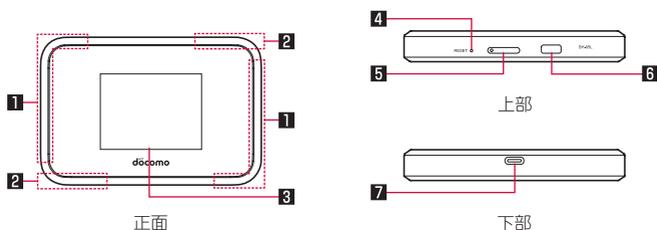
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

# ご使用前の確認

## 各部の名称と機能

### ■ 本体



#### 1 LTE/FOMAアンテナ※

#### 2 LTE/Wi-Fiアンテナ※

#### 3 ディスプレイ/タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.22「タッチパネルの使いかた」

#### 4 RESETボタン

- 本端末の電源が入っている状態で、SIM取り出しツール（試供品）を使用して押すと、本端末の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
- 設定ツールの操作でもお買い上げ時の状態に戻すことができます（P.58「初期値に戻す」）。

#### 5 ドコモnanoUIMカードトレイ

- ドコモnanoUIMカードについてはP.14「ドコモnanoUIMカード」

#### 6 □：電源キー

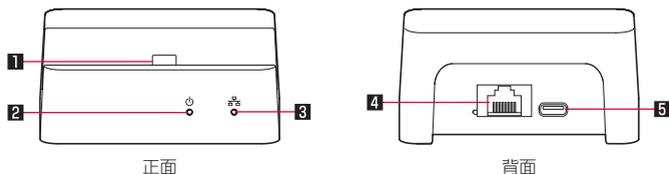
- 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します（P.20「電源を入れる／切る」）。

#### 7 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- 外部機器との接続についてはP.17「充電」、P.47「USB接続ケーブルで接続／通信する」

※ 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

### ■ クレードル SH01



#### 1 充電用Type-Cプラグ

#### 2 電源ランプ

- 点灯：電源接続中
- 消灯：電源未接続

#### 3 Ethernetランプ

- 点灯：LANケーブル接続中
  - 本体の端末が通信可能な状態でクレードルに取り付け、クレードルと有線LAN対応機器がLANケーブルで接続されている場合に点灯します。
- 消灯：LANケーブル未接続、または接続異常
- 点滅：接続途中、またはデータ通信中

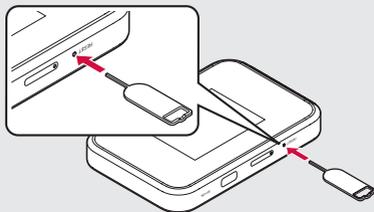
#### 4 Ethernetポート

#### 5 電源用USB Type-C接続端子

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

### RESETボタンについて

- RESETボタンを押すときはSIM取り出しツール(試供品)を利用します。
- 本端末の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すときは、SIM取り出しツールでRESETボタンを2秒以上押す▶[はい]と操作します。



### IMEIプレートについて

- ドコモnanoUIMカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報(端末識別番号)、CEマークなどを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となりますので、プレートを引き出したり、シールをはがしたりしないでください。  
IMEIプレート(銘板プレート)の取り扱いに関する注意事項については、「アフターサービスについて」(P.72)をご参照ください。
- IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。

### 本端末の強制終了について

- □(電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切るため、設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

## ■ SIM取り出しツール(試供品)

ドコモnanoUIMカードの取り付け/取り外しを行うときやRESETボタンを押すときに使用します。

## ドコモnanoUIMカード

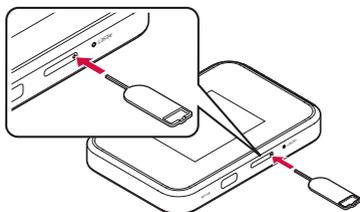
ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。本端末に取り付けることで、データ通信を利用できます。

- ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります(※P.16「暗証番号について」)。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 取り外し/取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。本端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し/取り付けは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。
- 取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。

## ■ 取り付けかた

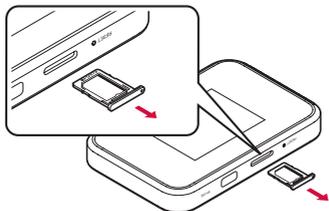
### 1 SIM取り出しツールの先端をドコモnanoUIMカードトレイ取り出し用の穴に差し込む

- カードトレイが出てくるまで、しっかりと水平に差し込んでください。水平に差し込まないと破損や故障の原因となります。



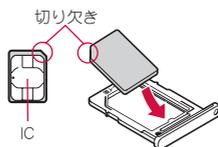
## 2 ドコモnanoUIMカードトレイを本体から引き出す

- カードトレイをゆっくりと水平に引き出してください。  
カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



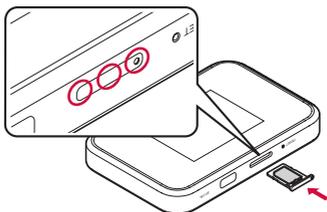
## 3 ドコモnanoUIMカードのIC面を下向きにして、ドコモnanoUIMカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- ドコモnanoUIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



## 4 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- O部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。



- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



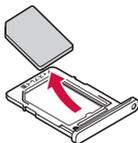
ペーパークリップの例

## ■ 取り外しかた

- ドコモnanoUIMカードトレイの取り外し/取り付け方法について詳しくは、「取り付けかた」(P.14)をご参照ください。

### 1 ドコモnanoUIMカードトレイを取り外す

### 2 ドコモnanoUIMカードをドコモnanoUIMカードトレイから取り外す



### 3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカードトレイを本体に取り付ける

- ドコモnanoUIMカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けただあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- ドコモnanoUIMカードやドコモnanoUIMカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でドコモnanoUIMカードトレイを引き出すと、取り付けられているドコモnanoUIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、I Cに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモnanoUIMカードが破損したり、ドコモnanoUIMカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページを参照してください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

## 暗証番号について

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(※P.53「PIN管理」)。PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4~8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

### 暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

### ■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモnanoUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

## 充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

### ■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安については「P.75「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できません（充電中は電池マークに[↓]が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。  
このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）、付属のクレードル SH01は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタ、クレードルから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

### ■ 内蔵電池の寿命

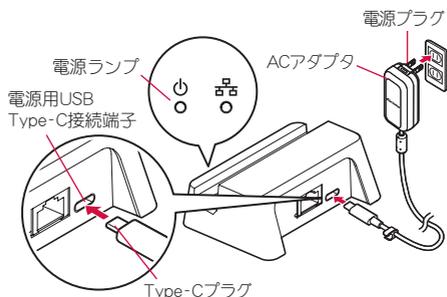
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。



## クレードルで充電

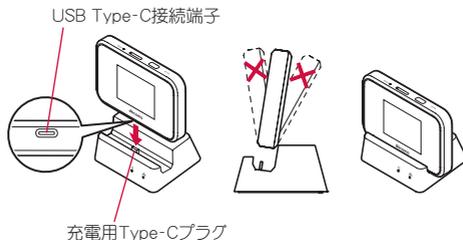
付属のクレードル SH01とACアダプタ 07（別売）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 1 ACアダプタのType-Cプラグを、クレードルの電源用USB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
  - クレードルの電源ランプが点灯します。



### 3 本端末のUSB Type-C接続端子を下にして、クレードルの充電用Type-Cプラグに対し、まっすぐ接続する

- 本端末とクレードルの向きが合っていることをご確認ください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。



### 4 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

### 5 本端末をクレードルの充電用Type-Cプラグに対し、まっすぐ取り外す

### 6 ACアダプタのType-Cプラグを、クレードルの電源用USB Type-C接続端子から抜く

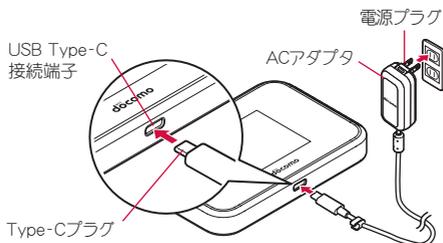
- ACアダプタ 07についてはACアダプタ 07の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。  
AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 電源ランプが点灯しないときは、クレードルがACアダプタでコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- 本端末をクレードルに置くときは、金属製のものを挟まないようにご注意ください。

## ACアダプタで充電

ACアダプタ 07(別売)を使って充電する場合は、次の操作を行います。

### 1 ACアダプタのType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

### 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



### 3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から水平に抜く

- 詳しくはACアダプタ 07の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。  
AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

## DCアダプタで充電

---

DCアダプタ 05(別売)は、自動車のアクセサリソケット(12V/24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。

DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02(別売)が必要です。詳細については、DCアダプタ 05、USBケーブル A to C 02の取扱説明書をご覧ください。

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

## パソコンに接続して充電

---

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02(別売)などで接続すると、本端末を充電することができます。

- パソコンなどとの接続方法についてはP.47「USB接続ケーブルで接続／通信する」

# 電源を入れる／切る

## ■ 電源を入れる

### 1 □ (電源キー) (2秒以上)



## ■ 電源を切る／再起動する

### 1 □ (電源キー) (2秒以上)

### 2 [電源をオフ]／[再起動]

## ■ ディスプレイの表示／非表示

□ (電源キー) を押したときや本端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに□ (電源キー) を押すと、ディスプレイが表示されます。

## ■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[>] を上にスライドすると、ロックが解除されます。



- はじめて本端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(☞P.20「初期設定」)。

## 初期設定

はじめて本端末の電源を入れた場合は、タッチパネルのロックを解除すると初期設定画面が表示されます。

### 1 初期設定画面が表示されたら[APNプロフィール選択]の[spモード]／[mopera U]を選択▶[次へ]

- お買い上げ時は[spモード]が選択されています。[mopera U]▶[次へ]▶[OK]と操作すると、本端末が自動的に再起動します。再起動後、タッチパネルのロックを解除すると、[mopera U]が選択された状態で初期設定画面が表示されますので、[次へ]をタッチし操作2へ進んでください。  
また、[mopera U]が選択された状態から[spモード]▶[次へ]▶[OK]と操作した場合も本端末が再起動します。

### 2 [ソフトウェア更新]について[自動更新]の[オン]／[オフ]を選択▶[次へ]

- ホーム画面が表示されます。

# 画面の見かた

## ■ ホーム画面



### ■ ステータスアイコン表示エリア

- : 電波状態レベル表示(5段階)
  - ・ データ受信中は[], データ送信中は[]が白く表示されます。
  - ・ 4G(LTE)／3G使用可能時は、電波マークの右側に[4G+]／[3G]が表示されます。また、圏外の場合は、電波マークの右側に[圏外]が表示されます。
  - ・ LTE接続時は常に[4G+]が表示されます。
  - ・ 国際ローミング中は、電波マークの左上に[R]が小さく表示されます。
- : 接続中のネットワーク名表示(NTT DOCOMO)
  - ・ 接続中のネットワーク名(通信事業者名)が表示されます。
- : インターネット接続／切断表示
  - ・ インターネットに接続され、データ通信が可能になっているかを示します。
- : ソフトウェア更新情報あり表示(※P.73「ソフトウェア更新」)
- : DFSチェック表示(※P.12「5GHz機器使用上の注意事項」)
  - ・ 気象レーダーなどとの電波干渉を確認中に表示されます。
- : モバイル給電表示(※P.60「モバイル給電」)
  - ・ モバイル給電中に表示されます。
- : 電池残量表示
  - ・ 電池残量マークの左側にパーセント表示します。
  - ・ 充電中は電池マークに[]が重なって表示されます。

### ■ データ通信量(※P.60「データ通信量」)

- 利用したデータ通信量が表示されます。

### ■ 接続リスト

- 本端末に接続中の機器の台数を確認できます。

### ■ 接続ガイド(※P.25「Wi-Fiで接続／通信する」)

- 画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。

### ■ モバイル給電(※P.60「モバイル給電」)

- モバイル給電について設定します。

### ■ 端末情報

- 本端末に関する情報を確認できます。

### ■ 設定(※P.61「設定」)

- 本端末の各機能を設定できます。

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認することができます。
- 使用環境や接続するWi-Fi対応機器によっては、接続やデータ通信が可能になるまでに時間がかかることがあります。

## タッチパネルの使いかた

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

### タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

### ■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



### ■ スライド(スワイプ)

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールできます。



## 数字の入力

入力先によって、数字キーボードが表示されます。



### 1 入力欄

- カーソルの位置に文字を入力できます。
- パスワードなどを入力した場合は「●」が表示されることがあります。

### 2 キーボード

- 文字入力するキーボードです。

### 3 削除キー

- カーソルの左側の文字を文字を消します。

# セットアップ

## セットアップについて

本端末と通信を行う機器との接続は、Wi-Fi機能を使う方法、USB接続ケーブルを使う方法、およびクレードルを使う方法があります。接続方法ごとの説明をご覧ください、セットアップを進めてください。  
いったん設定したあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をONにするだけで、自動的に接続されます。

### Wi-Fi接続でデータの送受信を行う場合

本端末はWi-Fi対応機器を同時に10台まで接続できます。

ネットワークやセキュリティの設定などを変更する場合は、設定ツールをご利用ください(☞P.49「設定ツールについて」)。

### USB接続ケーブルで接続してデータの送受信を行う場合

USBケーブル A to C 02(別売)で接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器を同時に10台まで接続できます。

### クレードルを使用してデータの送受信を行う場合

付属のクレードル SH01に市販のLANケーブルとACアダプタ(別売)を接続すると、充電しながら使用できます。

### セットアップに必要な情報について

- 本端末にWi-Fi対応機器を接続するとき、以下の情報が必要になります。付属の『無線LAN初期設定シール』に、本端末の初期設定値が記載されていますので、必要に応じてご確認ください。  
また、次の操作で本端末のディスプレイに情報を表示することができます。  
ホーム画面で[接続ガイド] ▶ [手動接続] ▶ SSIDを選択
  - SSID  
ネットワーク上での本端末の名前です。  
SSID A: SH-05La-XXXXXX  
SSID B: SH-05Lb-XXXXXX
  - パスワード  
Wi-Fi対応機器によっては、「Wi-Fi/パスワード」、「セキュリティキー」のように表記されていますが同じことを意味します。
- セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているSSID、およびパスワードを変更してお使いになるようおすすめします。
- セットアップ(本端末と接続)後は、設定ツールを使ってご利用のネットワークを設定してください(☞P.52「ネットワーク」)。  
spモードに接続してお使いになる場合は、この設定は不要です。

## 対応機器を確認する

本端末が対応する機器について説明します。対応機器の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。

- パソコンは最新状態にして、お使いください。
- USB HUB(モニターやキーボードなどにあるUSBポート含む)を経由しての動作は保証いたしかねます。
- お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また対応の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせ、および、動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### ■ Wi-Fi接続できる機器について

無線LAN規格IEEE802.11a/n/ac(5GHz帯)、IEEE802.11b/g/n(2.4GHz帯)に対応しているWi-Fi対応機器と接続できます。

- Wi-Fi対応機器の動作や操作方法などについては、提供元メーカーにお問い合わせください。

### ■ USB接続できる機器について

対応しているOSは以下のとおりとなります。

- Windows 10(32ビット/64ビット)
  - Windows 8.1<sup>※1</sup>(32ビット/64ビット)
  - Windows 7 SP1(32ビット/64ビット)
  - macOS Mojave 10.14.3(64ビット)
  - macOS High Sierra 10.13.6(64ビット)
  - macOS Sierra 10.12.6(64ビット)
- ※ Windows RTは非対応となります。

- USB2.0以上に対応している機器をUSB接続できます。
- USB接続中に本端末は充電されます。

### ■ 本端末の設定を変更できる機器について

対応しているOS<sup>※1</sup>は以下のとおりとなります。

- Windows 10(32ビット/64ビット)
- Windows 8.1<sup>※2</sup>(32ビット/64ビット)
- Windows 7 SP1(32ビット/64ビット)
- macOS Mojave 10.14.3(64ビット)
- macOS High Sierra 10.13.6(64ビット)
- macOS Sierra 10.12.6(64ビット)
- Android<sup>※3</sup>
- iOS<sup>※3</sup>

※1 対応OSは日本語版となります。OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

※2 Windows RTは非対応となります。

※3 すべてのメニュー項目/設定項目は表示されません。すべての項目を表示させるには[PC表示]をタッチしてください。詳しくは、「メニュー一覧(Webブラウザ)」(P.65)の「ポータブルデバイスでの表示」列をご参照ください。

# Wi-Fiで接続／通信する

本端末は、Wi-Fi機能により同時に複数のパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器と接続し、データを送受信ができます。

- 使用環境や接続するWi-Fi対応機器によっては、接続やデータ通信が可能になるまでに時間がかかることがあります。

## 一般的なWi-Fi対応機器を接続する

ここでは、各種ゲーム機や携帯端末などの一般的なWi-Fi対応機器を例にして説明します。

### WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているWi-Fi対応機器であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)]に設定する必要があります。

#### 本端末

### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

#### Wi-Fi対応機器

### 2 接続設定画面を表示し、必要に応じてWPS接続の準備操作を行う

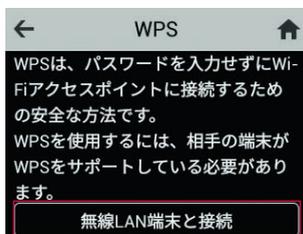
- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

#### 本端末

### 3 ホーム画面で[接続ガイド]▶[WPS]



### 4 [無線LAN端末と接続]



#### Wi-Fi対応機器

### 5 WPSボタンを押す

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

## アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

### ——— 本端末 ———

#### 1 □ (電源キー) (2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

#### 2 ホーム画面で[接続ガイド]



#### 3 [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。



### ——— Wi-Fi対応機器 ———

#### 4 接続設定画面を表示し、アクセスポイントを検索する

- Wi-Fi対応機器でWi-Fi機能をONにしたり、「アクセスポイントに接続」や「検索する」などのメニューを選択したりすると、近くにあるアクセスポイントが一覧表示されます。
- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

#### 5 アクセスポイントの一覧から、本端末のSSIDが表示されている項目を選択する

#### 6 パスワードを入力し、設定を保存する

- Wi-Fi対応機器によっては、セキュリティ(暗号化方式)の選択画面が表示されることがあります。本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]に合わせて選択してください(☞P.55「Wi-Fi設定」)。

## Windowsを接続する

ここでは、Windows 10とWindows 8.1、Windows 7の場合を例にして説明します。

詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

### ■ Windows 10

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

### WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)]に設定する必要があります。

### ——— 本端末 ———

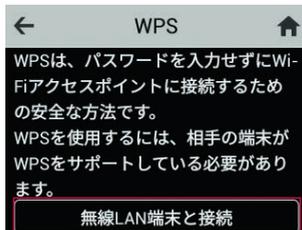
#### 1 □ (電源キー) (2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

## 2 ホーム画面で[接続ガイド]▶[WPS]



## 3 [無線LAN端末と接続]

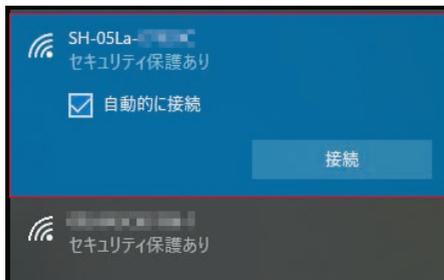


### ———— パソコン ————

### 4 Wi-Fi機能をONにする

### 5 タスクトレイのをクリック

### 6 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。
  - セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
  - 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。
- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
  - MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

### アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

### ———— 本端末 ————

### 1 (電源キー) (2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

## 2 ホーム画面で[接続ガイド]



## 3 [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。

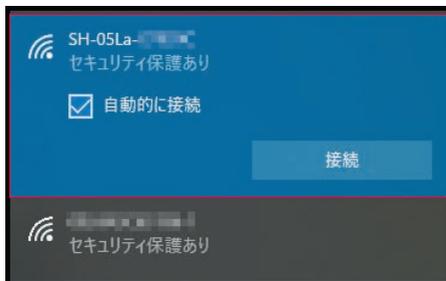


### パソコン

## 4 Wi-Fi機能をONにする

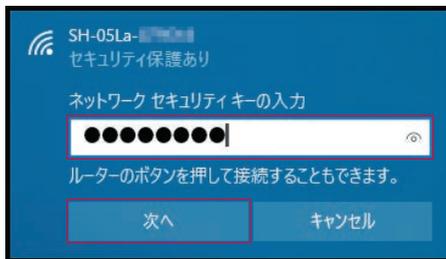
## 5 タスクトレイのをクリック

## 6 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



## 7 パスワードを入力し、[次へ]をクリック

- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。



## ■ Windows 8.1

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

### WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)]に設定する必要があります。

#### ————— 本端末 —————

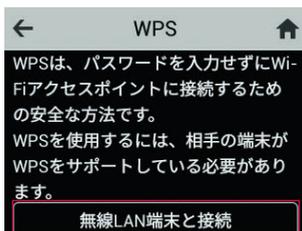
### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、[📶]が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[📶]が表示されます。

### 2 ホーム画面で[接続ガイド]▶[WPS]



### 3 [無線LAN端末と接続]



#### ————— パソコン —————

### 4 Wi-Fi機能をONにする

### 5 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、下向きに移動すると表示されるメニュー(チャーム)で[設定]をクリック

### 6 📶(利用可能)をクリック

## 7 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続する]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。
  - セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
  - 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。
- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

### アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

#### 本端末

### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、[📶]が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[📶]が表示されます。

### 2 ホーム画面で[接続ガイド]



### 3 [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。



- 4 Wi-Fi機能をONにする
- 5 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、下向きに移動すると表示されるメニュー(チャーム)で[設定]をクリック
- 6 [Wi-Fi (利用可能)]をクリック
- 7 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続する]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



## 8 パスワードを入力し、[次へ]をクリック

- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。



## ■ Windows 7

### WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)]に設定する必要があります。

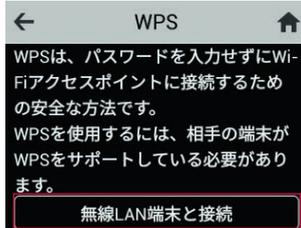
## 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、[Wi-Fi]が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[Wi-Fi]が表示されます。

## 2 ホーム画面で[接続ガイド]▶[WPS]



## 3 [無線LAN端末と接続]



### ———— パソコン ————

## 4 Wi-Fi機能をONにする

## 5 [スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックし、[ネットワークとインターネット]▶[ネットワークと共有センター]を順にクリック

## 6 [ネットワークに接続]をクリック



## 7 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続する]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
  - 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。
- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
  - MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

### アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

#### ————— 本端末 —————

### 1 (電源キー) (2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

### 2 ホーム画面で[接続ガイド]



### 3 [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。



#### ————— パソコン —————

### 4 Wi-Fi機能をONにする

5 [スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックし、[ネットワークとインターネット] ▶ [ネットワークと共有センター]を順にクリック

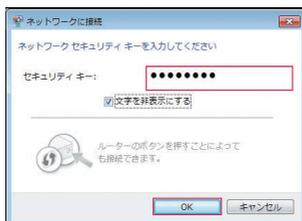
6 [ネットワークに接続]をクリック



7 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続する]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



8 パスワードを入力し、[OK]をクリック



## Macを接続する

ここでは、macOS Mojave 10.14.3の場合を例にして説明します。お使いのバージョンによって画面が異なる場合があります。

### ————— 本端末 —————

#### 1 □ (電源キー) (2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

#### 2 ホーム画面で[接続ガイド]



#### 3 [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。



### ————— パソコン —————

#### 4 アップルメニューから[システム環境設定...]をクリックし、[ネットワーク]をクリック

#### 5 [Wi-Fi]をクリックし、[Wi-Fiをオンにする]をクリックしてWi-Fi機能をONにする

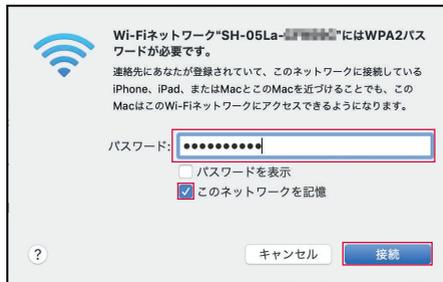


- [新しいネットワークに接続する前に確認]にチェックが入っていると、Wi-FiをONにしたとき、[使ったことのあるネットワークが見つかりません。]というメッセージが表示されることがあります。その場合は、[キャンセル]をクリックして[ネットワーク]の画面に戻ってください。

## 6 [ネットワーク名]のプルダウンリストから本端末のSSIDを選択する



## 7 パスワードを[パスワード]欄に入力し、[このネットワークを記憶]にチェックマークを付け、[接続]をクリック



## Android搭載端末を接続する

お使いのAndroid搭載端末、Androidのバージョンによって操作および画面が異なります。  
詳しくは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

### WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているAndroid搭載端末であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのAndroid搭載端末がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

ここでは、Android 8.1の場合を例に説明しています。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)]に設定する必要があります。

#### ————— 本端末 —————

### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

#### ————— Android —————

### 2 アプリケーション一覧画面で[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

### 3 [Wi-Fi]をONにする

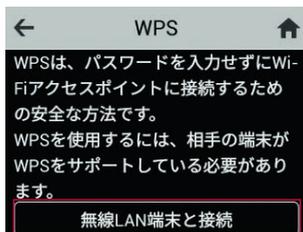
### 4 [Wi-Fi 設定]▶[詳細設定]▶[WPSプッシュボタン]

#### ————— 本端末 —————

### 5 ホーム画面で[接続ガイド]▶[WPS]



### 6 [無線LAN端末と接続]



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

### アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

お使いのAndroid搭載端末がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。  
ここでは、Android 9 Pieの場合を例に説明しています。

#### ————— 本端末 —————

### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

## 2 ホーム画面で[接続ガイド]



## 3 [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。



### Android

## 4 アプリケーション一覧画面で[設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]

## 5 [Wi-Fi]をONにする

## 6 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



## 7 パスワードを正しく入力 ▶ [接続]



## 本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合

本端末に表示したQRコードをカメラを利用して読み込むことで自動的に本端末と接続できます。  
ここでは、Android 9 Pieの場合を例に説明しています。

- Android搭載端末にインストールされているQRコードリーダーでは、Wi-Fi設定を自動で設定できない場合があります。下記からQRコードリーダーをインストールしてください。

[http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh05l/peripherals/qrapl.html?utm\\_source=guide&utm\\_medium=qrs05l&utm\\_campaign=product\\_leaf](http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh05l/peripherals/qrapl.html?utm_source=guide&utm_medium=qrs05l&utm_campaign=product_leaf)



### ————— 本端末 —————

#### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

#### 2 ホーム画面で[接続ガイド]▶[QRコードで接続]



- 本端末にQRコードが表示されます。

### ————— Android —————

#### 3 QRコードを読み取るアプリを起動する

#### 4 カメラで、本端末に表示されているQRコードを読み取る▶画面に従って操作する

- 本端末と接続されます。

- おすすめのアプリでQRコードを読み取っても自動で本端末と接続できないときは、WPS機能を利用する、またはアクセスポイントを検索して接続してください。

## iPhone/iPod touch/iPadを接続する

### アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

ここでは、iPhone(iOS 12.3.1)を使用した場合を例にして説明します。

### ————— 本端末 —————

#### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

#### 2 ホーム画面で[接続ガイド]



### 3 [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。



## iPhone

### 4 ホーム画面で[設定] ▶ [Wi-Fi]

### 5 [Wi-Fi]をONにする



### 6 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



### 7 パスワードを正しく入力 ▶ [接続]



## 本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合

本端末に表示したQRコードをカメラを利用して読み込むことで自動的に本端末と接続できます。ここでは、iPhone(iOS 12.3.1)を使用した場合を例にして説明します。

### 本端末

#### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、[📶]が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[📶]が表示されます。

#### 2 ホーム画面で[接続ガイド]▶[QRコードで接続]



- 本端末にQRコードが表示されます。

### iPhone

#### 3 カメラ機能を利用してQRコードを読み取る▶画面に従って操作する

- 本端末と接続されます。

## Nintendo Switchを接続する

### 本端末

#### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、[📶]が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[📶]が表示されます。

#### 2 ホーム画面で[接続ガイド]

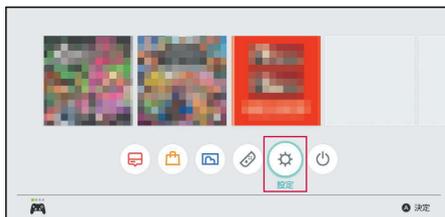


#### 3 [手動接続]▶接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。



## 4 HOMEメニューで【設定】



## 5 【インターネット】▶【インターネット設定】



## 6 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



## 7 パスワードを正しく入力▶【OK】



- 設定が保存されます。接続が成功したメッセージが表示されたら設定完了です。

## ニンテンドー3DSを接続する

ここでは、ニンテンドー3DS/3DS LLの場合を例にして説明します。

- 手順で使用している画面例は、すべてニンテンドー3DSのものです。

————— 本端末 —————

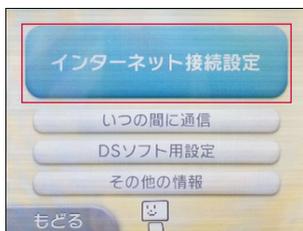
### 1 □ (電源キー) (2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

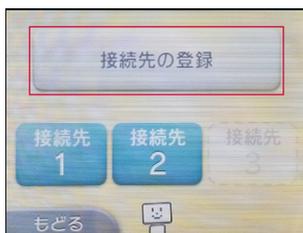
————— ニンテンドー3DS —————

### 2 HOMEメニューで[本体設定]▶[はじめる]▶[インターネット設定]

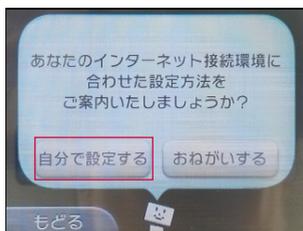
### 3 [インターネット接続設定]



### 4 [接続先の登録]



### 5 [自分で設定する]



## WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。

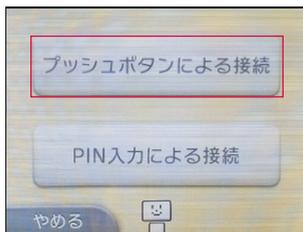
- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)]に設定する必要があります。

—— ニンテンドー3DS ——

### 1 [Wi-Fi PROTECTED SETUP] (WPS)



### 2 [プッシュボタンによる接続]

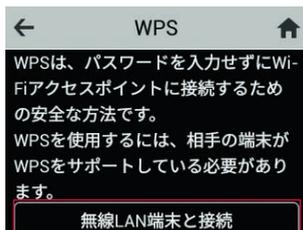


————— 本端末 —————

### 3 ホーム画面で[接続ガイド]▶[WPS]



### 4 [無線LAN端末と接続]



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。

—— ニンテンドー3DS ——

### 5 [OK]

- 接続テストが始まります。接続が成功したメッセージが表示されたら設定完了です。

## アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

—— 本端末 ——

### 1 ホーム画面で[接続ガイド]



### 2 [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。

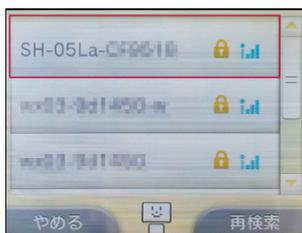


—— ニンテンドー3DS ——

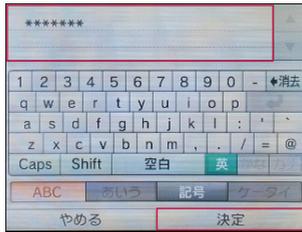
### 3 [アクセスポイントを検索]



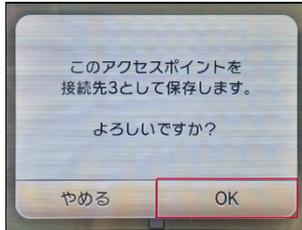
### 4 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



## 5 パスワードを正しく入力▶[決定]



## 6 [OK]



## 7 [OK]

- 接続テストが始まります。接続が成功したメッセージが表示されたら設定完了です。

# USB接続ケーブルで接続／通信する

本端末は、USBケーブル A to C 02(別売)で直接パソコンに接続し、データの送受信ができます。

## ■ パソコンに本端末を取り付ける

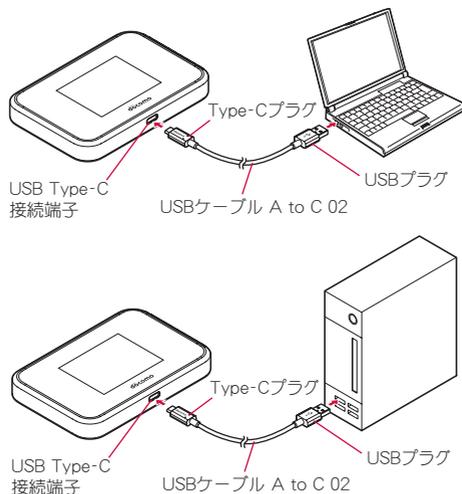
### 1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、[🌐]が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[📶]が表示されます。

### 2 ドコモnanoUIMカードを取り付けた本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to C 02のType-Cプラグを水平に差し込む

### 3 USBケーブル A to C 02のUSBプラグを、パソコンのUSB端子に接続する

- パソコンに接続すると、USB接続機能が起動し、自動的にインターネットに接続されます。パケット通信(課金対象)が発生しますのでご注意ください。



## ■ パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

### 1 USBケーブル A to C 02を本端末とパソコンから水平に抜く

- データ通信中にUSBケーブル A to C 02をパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。
- 本端末をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ(サスペンド/レジューム/スリープ)、または休止(ハイパネーション)を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本端末を取り外してスタンバイ、休止を行ってください。
- 本端末を取り付けた状態で再起動したり、電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本端末を取り外してください。

## クレードルを使用して接続／通信する

本端末を付属のクレードル SH01に接続することで、有線ルータとして使用できます。

LANケーブルでクレードルと接続しているパソコンを、本端末のLTE回線を利用してインターネットに接続できます。

- クレードルは、必ずACアダプタ 07 (別売)を使って、コンセントに接続してお使いください。
- クレードル使用時は、Wi-Fi対応機器を同時に接続できます。

**1 ACアダプタのType-Cプラグを、クレードルの電源用USB Type-C接続端子に水平に差し込む**

**2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

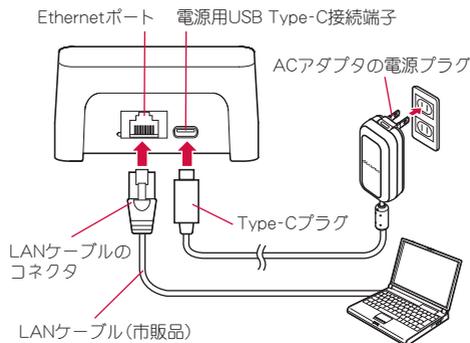
- クレードルの電源ランプが点灯します。

**3 LANケーブルの片方のコネクタを、クレードルのEthernetポートに差し込む**

- LANケーブルのコネクタの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。

**4 LANケーブルのもう一方のコネクタを、パソコンのEthernetポートに差し込む**

- LANケーブルのコネクタの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。

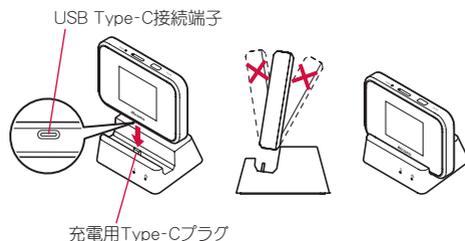


**5 □ (電源キー) (2秒以上)**

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

**6 本端末のUSB Type-C接続端子を下にして、クレードルの充電用Type-Cプラグに対し真っ直ぐ取り付ける**

- クレードルのEthernetランプが点灯します。



- クレードルから本端末を取り外すときも、クレードルの充電用Type-Cプラグに対し真っ直ぐ取り外してください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。

# 各種設定 (Webブラウザ)

## 設定ツールについて

本端末と接続したパソコンおよび携帯端末から、Webブラウザを利用して本端末の各種機能を設定できます。ここではWi-Fi接続した場合を例にしています。お使いのOSやWebブラウザによって画面が異なる場合があります。

- 本端末との接続方法については<sup>④</sup>P.23「セットアップ」
- Wi-Fiで接続したパソコンおよび携帯端末から、設定ツールで[MACアドレスフィルタリング]や[Wi-Fi設定]の設定内容を変更すると、Wi-Fiの接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンおよび携帯端末の設定変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。また、USB接続ケーブルを利用してUSB接続やクレードルを利用して有線LAN接続し、設定ツールで変更することもできます。
- 設定ツールで複数のパソコンおよび携帯端末で表示/設定できません。
- 本端末でも一部の機能を設定できます(<sup>④</sup>P.59「各種設定(本体メニュー)」)。
- 本端末のディスプレイが非表示(消灯)の場合、またはタッチパネルのロック画面表示中の場合に設定ツールを利用できません。
  - 設定ツールで設定中に本端末にタッチパネルのロック画面以外の画面を表示すると、設定が中断され、ログアウトする場合があります。
  - 本端末のディスプレイを非表示後、すぐに設定ツールにログインできない場合があります。しばらく待ってからログインしてください。
- [SSID B]にWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末から、設定ツールを表示する場合は[Web UIへのアクセス]を[許可]に設定してください(<sup>④</sup>P.55「基本設定」)。

## 対応するWebブラウザ

本端末は以下のWebブラウザに対応しています。

### Windowsの場合

- Windows 7 SP1/32ビット・64ビット:Microsoft Internet Explorer 11以上<sup>※</sup>
- Windows 8.1/32ビット・64ビット:Microsoft Internet Explorer 11以上<sup>※</sup>
- Windows 10/32ビット・64ビット:Microsoft Edge 44以上、Microsoft Internet Explorer 11以上<sup>※</sup>
- Google Chrome™ 43以上

※対応するMicrosoft Internet ExplorerやMicrosoft Edgeのバージョンでも、ドキュメントモードが古いモードの場合は、表示が崩れることなどがあります。ドキュメントモードが最新となっているかをご確認ください。ドキュメントモードの詳細については、マイクロソフト社にお問い合わせください。

### Macの場合

- Safari 9.0以上
- Google Chrome 43以上

### Android搭載端末の場合

- Google Chrome 43以上

### iPhone/iPod touch/iPadの場合

- Safari 9.0以上

## 設定ツールを表示する

### ■ Windows/Macの場合

- 1 パソコンを起動し、本端末と接続
- 2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://(本端末のホストIPアドレス)」/または「http://web.setting」と入力
  - 本端末のお買い上げ時の[ホストIPアドレス]は、「192.168.128.1」に設定されています(<sup>④</sup>P.53「DHCPサーバー」)。
  - 設定ツール画面の[ホーム]が表示されます。

### 3 [ログイン]をクリック▶パスワードを入力▶[ログイン]をクリック

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。
- パスワードを「admin」でご利用いただくと、ログインするたび、パスワード変更のメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、画面に従って必ず変更いただき、他人に知られないように十分ご注意ください。8~32文字までの半角英数字/記号を登録できます。\*

※「01.00.B0」以降のソフトウェアに更新された場合は、Web UIパスワードに英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める必要があります。ただし、ソフトウェアの更新前に登録したWeb UIパスワードは、英大文字/英小文字/数字/記号が含まれていなくても、変更するまで継続してご利用いただけます。

#### 終了するには

設定ツール画面で、[ログアウト]をクリックします。

### ■ Android搭載端末/iPhone/iPod touch/iPadの場合

#### 1 Android搭載端末/iPhone/iPod touch/iPadと本端末を接続

#### 2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://(本端末のホストIPアドレス)」または「http://web.setting」と入力

- 本端末のお買い上げ時の[ホストIPアドレス]は、「192.168.128.1」に設定されています (※P.53「DHCPサーバー」)。
- 設定ツール画面の[ホーム]が表示されます。

#### 3 [ログイン]▶パスワードを入力▶[ログイン]

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。
- パスワードを「admin」でご利用いただくと、ログインするたび、パスワード変更のメッセージが表示されます。  
[OK]をタッチし、画面に従って必ず変更いただき、他人に知られないように十分ご注意ください。8~32文字までの半角英数字/記号を登録できます。\*

※「01.00.B0」以降のソフトウェアに更新された場合は、Web UIパスワードに英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める必要があります。ただし、ソフトウェアの更新前に登録したWeb UIパスワードは、英大文字/英小文字/数字/記号が含まれていなくても、変更するまで継続してご利用いただけます。

#### 終了するには

設定ツール画面で、[ログアウト]をタッチします。

- 約5分間操作がない場合は自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

## 設定ツール画面の見かた

設定ツールのホーム画面には、各機能の設定/情報画面やアイコンメニューが表示されます。ここでは、パソコンでの操作を例としています。



#### 1 電波状態表示

- [ ]~[ ]: レベル表示 (5段階)
- 4G(LTE)/3G使用可能時は、電波状態表示の右側に [4G+] / [3G] が表示されます。
- LTE接続時は常に [4G+] が表示されます。
- 国際ローミング中は、電波マークの左上に [R] が小さく表示されます。

#### 2 接続中のネットワーク名表示

- 接続中のネットワーク名(通信事業者名)が表示されます。

### 3 インターネット接続表示

- インターネットに接続されデータ通信が可能になったことを示します。
- 切断中は[ ]が表示されます。

### 4 電池残量表示

### 5 Language

- 表示言語を切り替えます。

### 6 ログアウト

### 7 接続状態

- 接続状態について表示します。

### 8 Wi-Fi状態

- 各SSIDに接続している機器の台数などを表示します。

### 9 データ通信量

- 利用したデータ通信量が表示されます。データ通信量の上限や最後にリセットしたときから経過した時間、最終リセット日も確認できます。

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認することができます。

## 接続端末

MACアドレスフィルタリング(接続を許可する機器をMACアドレスによって制限する機能)について設定します。

- Wi-Fi接続および有線LAN接続する機器に対して設定できます。USB接続する機器に対しては設定できません。
- MACアドレスフィルタリングを利用する場合は、必ず接続を許可する機器のMACアドレスを追加して、[有効]に設定してください。設定ツール画面を表示している機器が許可対象になっていない場合は、接続が拒否され、設定を変更できなくなります。

### ■ MACアドレスを追加する

[MACアドレスフィルタリング]を[有効]に設定している場合に接続を許可する[MACアドレス]を設定します。

#### 1 設定ツール画面で[接続端末]をクリック

- 接続端末画面が表示され、現在接続中の端末の情報が一覧表示されます。
  - ホスト名を変更:[ ]をクリック▶内容を編集▶[OK]をクリック(使用できる文字は64文字までの半角英数字/アンダーバー(\_)/ハイフン(-)です。)
  - [MACアドレスフィルタリング]にMACアドレスを追加:[ ]▶[OK]を順にクリック



#### 2 [MACアドレスフィルタリング]をクリック

#### 3 [追加]をクリック

#### 4 [説明]欄/[MACアドレス]欄を入力

- 接続を許可する機器のMACアドレスを10件まで登録できます。

#### 5 [OK]▶[OK]を順にクリック

- 追加したMACアドレスは一覧表示されます。
  - 追加したMACアドレスを編集:[ ]をクリック▶内容を編集▶[OK]▶[OK]を順にクリック
  - 追加したMACアドレスを削除:[ ]▶[OK]を順にクリック

### ■ MACアドレスフィルタリングの有効/無効を切り替える

#### 1 接続端末画面で[MACアドレスフィルタリング]をクリック

#### 2 [MACアドレスフィルタリング]の[有効]/[無効]をクリック

#### 3 [適用]をクリック

# ネットワーク

モバイルネットワークやAPN プロファイル設定、ドコモnanoUIMカードのPINコードについて設定します。

## 1 設定ツール画面で[ネットワーク]をクリック

- ネットワーク画面が表示されます。



## 2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値については☎P.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **モバイルネットワーク**: モバイルネットワークについて設定します。
  - **ネットワーク設定**: ネットワーク設定については☎P.52「ネットワーク設定」
  - **国際ローミング設定**: 国際ローミングを有効にするか設定します。
- **APN プロファイル設定**: APN プロファイル設定については☎P.52「APN プロファイル設定」
- **PIN管理**: PIN管理については☎P.53「PIN管理」

## 3 [適用]をクリック

### ■ ネットワーク設定

モバイルネットワークで使用するネットワークモードや通信事業者を設定します。

## 1 ネットワーク画面で[モバイルネットワーク]▶[ネットワーク設定]を順にクリック

## 2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値については☎P.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **ネットワークモード**: ネットワークモードを選択します。
- **ネットワーク検索**: 通信事業者の検索方法を設定します。
  - 通信事業者を手動で選択するときは☎P.64「通信事業者の設定」

## 3 [適用]をクリック

### ■ APN プロファイル設定

APN(アクセスポイント名)を設定します。

## 1 ネットワーク画面で[APN プロファイル設定]をクリック

- 現在接続中のAPNプロファイルが表示されます。

## 2 [APN]で利用するAPNプロファイルを選択

- [新規]をクリックすると、APNプロファイルを追加できます。ただし、[APN名]を追加済みのAPNプロファイルと同じ内容で追加することはできません。
- 追加したAPNプロファイルを本端末で利用する場合は、[APN]で利用するAPNプロファイルを選択し[適用]をクリックしてください。
- 追加したAPNプロファイルを[APN]で選択すると登録内容が表示されます。[編集]、[削除]をクリックすると、APNプロファイルの編集、削除ができます。ただし、お買い上げ時に登録されている[spモード]、[mopera U]の編集、削除はできません。

## 3 [適用]▶[OK]を順にクリック

- [APN]でAPNプロファイルを変更した場合は、本端末が自動的に再起動します。

## ■ PIN管理

ドコモnanoUMカードのPINコードについて設定します。PINコードについては「P.16「暗証番号について」

### 1 ネットワーク画面で[PIN管理]をクリック

### 2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値については「P.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **PINロック**:電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護するか設定します。
- **PIN**: [PINロック]を [有効]に設定しているときのみ、PINコードを設定できます。

## 設定

### LAN設定

DHCPサーバー (LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる)機能やファイアーウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)などを設定します。

#### ■ DHCPサーバー

DHCPサーバー (LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる)機能を設定します。

### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

### 2 [DHCPサーバー]をクリック

### 3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値については「P.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **ホストIPアドレス**:本端末のホストIPアドレスを設定します。
- **ホストサブネットマスク**:ホストサブネットマスクを設定します。
- **DHCPサーバー**:DHCP機能の [有効] / [無効]を設定します。
- **DHCP範囲**:Wi-Fi対応機器に割り当てる開始と終了のIPアドレスを設定します。
- **リース時間(分)**:IPアドレスのリースタイムを設定します。

### 4 [適用]をクリック

#### ■ ファイアーウォール

ファイアーウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)を設定します。

### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

### 2 [ファイアーウォール]をクリック

### 3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値については「P.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **IPアドレスフィルタリング**:IPアドレスフィルタリングによるファイアーウォール機能の [有効] / [無効]を設定します。
- **WANポートPINGブロック**:WANポートPINGブロックによるファイアーウォール機能の [有効] / [無効]を設定します。

### 4 [適用]をクリック

- SPモード時は [WANポートPINGブロック] 機能を無効にしても、WAN側からPINGを通すことはできません。

#### IPアドレスフィルタリングの詳細設定をする

インターネットとの通信について、設定したルールに従い、LAN側(送信側)とWAN側(送信先)の各アドレスからファイアーウォールを通過させるかどうかを判断します。

- IPアドレスフィルタリングを利用するには、[設定] ▶ [LAN設定] ▶ [ファイアーウォール] ▶ [IPアドレスフィルタリング]を [有効]にしておく必要があります。

### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

### 2 [IPアドレスフィルタリング]をクリック

### 3 [フィルターモード]の [拒否] / [許可] をクリック

### 4 [ルールを追加]をクリック

### 5 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値については「P.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **LAN IPアドレス**:ルールを適用するLAN側(送信側) 端末のIPアドレスを設定します。
- **LANポート**:ルールを適用するLAN側(送信側) ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。\*
- **WAN IPアドレス**:ルールを適用するWAN側(送信先) 端末のIPアドレスを設定します。
- **WANポート**:ルールを適用するWAN側(送信先) ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。\*
- **プロトコル**:ルールを適用するプロトコルを選択します。

- **IPタイプ**:フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します。

## 6 [OK]をクリック

- 操作4~6を繰り返してIPアドレスフィルタリングのルールを10件まで登録できます。
- 追加したルールは一覧表示されます。
  - 追加したルールを編集: [編集] をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [OK] をクリック
  - 追加したルールを削除: [削除] ▶ [OK] を順にクリック

※ポート番号の範囲を指定する場合は、番号間に「-」を入力してください(例: 100-200)。  
ポート番号を指定しない場合は、「\*」を入力してください(例:\*).

## ■ ポートマッピング

インターネットからLAN内にある特定の端末にアクセスできるように設定します。サーバーやFTPを公開する場合、一部のオンラインゲームやメッセージングソフトなどを利用する場合に設定します。

### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

### 2 [ポートマッピング]をクリック

### 3 [ルールを追加]をクリック

### 4 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **ルール名**:ポートマッピングのルールに任意の名前を付けます。
- **WANポート**:ルールを適用するWAN側(送信元)のポート番号を設定します。\*
- **LAN IPアドレス**:サーバーとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。
- **LANポート**:サーバーとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送するときの送信先ポート番号を設定します。ポート番号を交換する必要がない場合は、[WANポート]と同じ値を設定します。
- **プロトコル**:ルールを適用するプロトコルを選択します。\*

### 5 [OK] ▶ [OK]を順にクリック

- 操作3~5を繰り返してポートマッピングのルールを10件まで登録できます。
- 追加したルールは一覧表示されます。
  - 追加したルールを編集: [編集] をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [OK] ▶ [OK] を順にクリック
  - 追加したルールを削除: [削除] ▶ [OK] を順にクリック

※WANポートとプロトコルの値が、重複して複数登録されている場合は、最新のルールが適用されます。

- SPモード時は[ポートマッピング]機能を利用できません。

## ■ DMZ

LAN内にある特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Webサーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用したりできるようになります。

### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

### 2 [DMZ]をクリック

### 3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **DMZ設定**:DMZ機能の[有効] / [無効]を設定します。
- **DMZ IPアドレス**:DMZホストのIPアドレスを設定します。[DMZ設定]を[有効]に設定しているときに表示されます。

### 4 [適用]をクリック

- SPモード時は[DMZ]機能を利用できません。

## ■ VPNパススルー

LAN内のプライベートアドレスを持ったVPNクライアントのパケットをインターネット側に通過させる場合に設定します。

### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

### 2 [VPNパススルー]をクリック

### 3 [VPNパススルー設定]の[有効] / [無効]をクリック

### 4 [適用]をクリック

# Wi-Fi設定

## ■ 基本設定

Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。

### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

### 2 [基本設定]をクリック

### 3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **Wi-Fi** : 本端末のWi-Fi機能の[有効] / [無効]を設定します。
- **マルチSSID** : マルチSSID機能の[有効] / [無効]を設定します。
- **SSID間通信隔離** : SSID AとSSID Bの間で通信を利用するか設定します。[マルチSSID]を[有効]に設定しているときに表示されます。
- **接続可能台数(1-10)** : Wi-Fi機能を利用時の接続可能台数を設定します。
- **端末でSSIDとパスワードを表示する** : 本端末のホーム画面で[接続ガイド] ▶ [手動接続] ▶ SSIDを選択と操作したときに、本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)を表示するか設定します。
- **インターフェイス** : インターフェイス(SSID A, SSID B)を選択します。[マルチSSID]を[有効]に設定しているときに選択できます。
  - 選択したインターフェイスの右側に、スマートフォンなどのカメラで読み取ってWi-Fi接続できるQRコードが表示されます。
  - [SSID]以下の項目は選択したインターフェイスについて設定します。
- **SSID** : ネットワーク名(SSID)を設定します。
- **セキュリティ(暗号化方式)** : セキュリティを選択します。[WEP]を選択するとWEP暗号化方式として設定されます。
- **パスワード** : 使用するパスワードを指定します。[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)]に設定しているときに表示されます。
  - [表示しない]にチェックを入れると、入力しているパスワードが「●」で表示されます。
- **WEPキー** : 使用するWEPキーを指定します。[セキュリティ(暗号化方式)]を[WEP]に設定しているときに表示されます。
  - [表示しない]にチェックを入れると、入力しているWEPキーが「●」で表示されます。
- **SSIDステルス** : SSIDがWi-Fi対応機器から見えないようにするか設定します。
- **プライバシーセパレーター** : 同時に接続しているWi-Fi対応機器同士のアクセスを禁止するか設定します。
- **Web UIへのアクセス** : [SSID B]を利用してWi-Fi接続している機器からの設定ツール(Webブラウザ)の表示を許可するか設定します。[インターフェイス]を[SSID B]に設定しているときに表示されます。

### 4 [適用] ▶ [OK]を順にクリック

- [Wi-Fi設定を初期値に戻す] ▶ [OK]を順にクリックすると、[Wi-Fi設定]の[基本設定]のすべての項目、[詳細設定]の[Wi-Fiモード]、[Wi-Fiチャンネル]、[Wi-Fi帯域幅]、[Wi-Fi送信出力]をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

## ■ 詳細設定

Wi-Fiの詳細な設定ができます。

### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

### 2 [詳細設定]をクリック

### 3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **Wi-Fiモード** : 利用する周波数帯を設定します。
- **Wi-Fiチャンネル** : 利用チャンネルを選択します。
- **Wi-Fi帯域幅** : 帯域幅を設定します。
- **スリープモード** : スリープモードの[有効] / [無効]を設定します。
  - スリープモードとは、Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にOFFにする機能です。
  - 以下の場合、スリープモードになりません。
    - ・ 画面点灯中
    - ・ ACアダプタやクレードルでの充電中
    - ・ パソコンなどとUSB接続中
    - ・ クレードルを利用して有線LAN接続中
    - ・ モバイル給電中
- **スリープモードタイマー** : [スリープモード]が設定されている場合に、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするまでの時間を設定します。
- **Wi-Fi送信出力** : Wi-Fiの送信出力について設定します。
- **TCP NATタイマー** : TCP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。

- **UDP NATタイマー**:UDP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス/ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。

## 4 [適用] ▶ [OK]を順にクリック

- ドコモnanoUIMカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は、[Wi-Fiモード]を[5GHz]に設定できません。
- [マルチSSID]を[有効]に設定し、SSID Bを利用できるように設定している場合、[Wi-Fiモード]は、SSID AとSSID Bの両方に反映されます。SSID AとSSID Bで異なる設定はできません。そのため、2.4GHz帯と5GHz帯の周波数帯を同時利用することもできません。

### ■ WPS

Wi-Fi対応機器とWPS機能を利用して接続する場合に、設定ツールからWPS接続を開始できます。

#### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

#### 2 [WPS]をクリック

#### 3 [開始]をクリック

- 開始後、WPS接続を止めるときは[停止]をクリックします。

#### 4 Wi-Fi対応機器を操作して接続する

- Wi-Fi対応機器の操作については、「Wi-Fiで接続/通信する」(P.25)をご参照ください。

## 端末設定

本端末を利用するための各種設定を行います。

### ■ Web UIパスワード

設定ツールのログインパスワードを設定します。

- お買い上げ時のパスワードは[admin]に設定されています。

#### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

#### 2 [Web UIパスワード]をクリック

#### 3 [現在のパスワードを入力]、[新しいパスワードを入力]、[新しいパスワードを再入力]欄をそれぞれ入力

#### 4 [適用]をクリック

### ■ 通信量設定

モバイルネットワークを利用したデータ通信量について設定します。

#### データ通信量の情報をリセットする

モバイルネットワークを利用したデータ通信量のカウントをリセットできます。

#### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

#### 2 [通信量設定]をクリック

- 当月に利用したデータ通信量や以前にリセットした日付、リセットしてから経過した期間を確認できます。

#### 3 [リセット]をクリック

#### データ通信量の上限を設定する

当月使用するデータ通信量の上限を設定できます。

- お買い上げ時は[7GB]に設定されています。

#### 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

#### 2 [通信量設定]をクリック

#### 3 [最大通信量]で上限を設定する

- 単位([MB]/[GB])を選択することができます。

#### 4 [適用]をクリック

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認することができます。

## ■ USBモード

USB通信規格を設定します。

- お買い上げ時は[3.0]に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [USBモード]をクリック
- 3 [USBモード]の[2.0] / [3.0]をクリック
- 4 [適用] ▶ [OK]を順にクリック
  - [USBモード]を変更した場合は、本端末が自動的に再起動します。

## ■ バックアップ・リストア

本端末に設定した内容をパソコンに保存したり、保存した設定情報を読み込んだりできます。

- ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。
- バックアップ・リストアできる設定項目についてはP.65「メニュー一覧(Webブラウザ)」

### バックアップする

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [バックアップ・リストア] ▶ [バックアップ]を順にクリック
- 3 画面の指示に従ってファイルを保存する

### 復元(リストア)する

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [バックアップ・リストア]をクリック
- 3 [開く]をクリック ▶ 以前にバックアップした設定情報のファイルを選択
- 4 [リストア]をクリック
  - 設定が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

## ■ ソフトウェア更新

新しいバージョンのソフトウェアがないか自動的に確認したり、自動的に更新する時刻を設定したりします。

- ソフトウェア更新について詳しくは、「ソフトウェア更新」(P.73)をご参照ください。
- お買い上げ時は、新しいバージョンのソフトウェアの情報が届いた場合はAM4:00に自動更新するように設定されています。

### 自動更新に設定する

更新情報が本端末に届くと自動でソフトウェアを更新します。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [ソフトウェア更新]をクリック
- 3 [自動更新]の[有効]をクリック
- 4 [自動更新時間]で自動更新する時刻を入力
  - ソフトウェア更新中はデータ通信を利用できません。本端末を利用しない時間帯に設定してください。
- 5 [適用]をクリック

### すぐに更新する

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [ソフトウェア更新]をクリック
- 3 [更新] ▶ [OK]を順にクリック

## ■ 初期値に戻す

設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [初期値に戻す]をクリック
- 3 [オールリセット]をクリック
- 4 [OK]をクリック

- 本端末が自動的に再起動し、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

## ■ 再起動

### すぐに再起動する

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [再起動]をクリック
- 3 [再起動]をクリック
- 4 [OK]をクリック

- 本端末が再起動します。

### 自動再起動を設定する

指定した日数を経過すると、指定した時刻に再起動するように設定できます。

- お買い上げ時は、[無効]に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [再起動]をクリック
- 3 [自動再起動]の[有効]をクリック
- 4 [自動再起動時間]欄で日数と時刻を入力
- 5 [適用]をクリック

## 端末情報

本端末に取り付けているドコモnanoUIMカードの電話番号やIMEI情報(端末識別番号)など、本端末の情報を確認できます。

- 1 設定ツール画面で[端末情報]をクリック

# 各種設定(本体メニュー)

## 本端末の本体メニューについて

本端末のメニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末では一部の機能を設定できません。パソコンから設定ツールを利用するとすべての機能を設定できます(☞P.49「設定ツールについて」)。

操作はホーム画面から行います。



機能	説明	参照先
データ通信量	本端末で通信したモバイルネットワークのデータ通信量を確認できます。また、本端末で通信するデータ量の上限を設定できます。	P.60
接続リスト	本端末に接続している機器の一覧を表示します。	—
端末情報	本端末の情報を確認できます。	—
接続ガイド	画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。	P.23
モバイル給電	モバイル給電について設定します。	P.60
設定	各種機能の詳細設定をします。	P.61

### ■ 前の画面に戻る場合

- 画面左上の[←]をタッチします。



### ■ ホーム画面に戻る場合

- 画面右上の[🏠]をタッチします。



## ■ 項目を選択する場合

- 選択する項目をタッチします。



- [●] / [○]が表示されている場合は[○]をタッチして選択します。



- [ON ●] / [OFF ○]が表示されている場合は[ON ●]をタッチしてOFFに、[OFF ○]をタッチしてONに切り替えます。



## データ通信量

当月使用するデータ通信量の上限を設定します。

- お買い上げ時は[7GB]に設定されています。

### 1 ホーム画面で[データ通信量]

- 現在のデータ通信量と最大通信量が表示されます。

### 2 [データ通信量設定]

### 3 最大通信量を入力

- [GB] / [MG]をタッチして単位を切り替えることができます。

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認することができます。

## モバイル給電

USBケーブル C to C 02(別売)で本端末とお使いのスマートフォン、タブレットなどを接続して充電することができます。

### 1 ホーム画面で[モバイル給電]

### 2 [給電停止するバッテリー容量]の[50%] / [30%]

### 3 [給電]

### 4 USBケーブル C to C 02で本端末とお使いのスマートフォンなどを接続する

## 設定

### モバイルネットワーク

モバイルネットワークで使用するネットワークモードや国際ローミングなどを設定します。

#### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [モバイルネットワーク]

#### 2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.69「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **ネットワークモード**: ネットワークモードについてはP.64「ネットワークモード」
- **APNプロファイル選択**: APNプロファイルを選択します。
- **国際ローミング**: 国際ローミングについてはP.64「国際ローミング」

### Wi-Fi設定

Wi-Fi機能の[ON]/[OFF]や利用する周波数帯を設定します。

#### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]

#### 2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.69「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **Wi-Fi**: 本端末のWi-Fi機能の[ON]/[OFF]を設定します。
- **Wi-Fiモード**: 利用する周波数帯を設定します。

- ドコモnanoUIMカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は、[Wi-Fiモード]を[5GHz]に設定できません。

### 画面ロック

ディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除時にパスワード入力が必要にするか設定します。

#### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [画面ロック]

#### 2 [ロック]の[ON] / [OFF]

- 設定を変更した場合は、画面に従って4桁の現在のパスワード/新しいパスワードなどを入力し、[OK]をタッチします。
- ONに設定している場合は、[パスワード変更]をタッチし画面に従って4桁の現在のパスワード/新しいパスワードを入力し、[OK]をタッチします。

### 画面設定

ディスプレイの明るさや何も操作しなかった場合の画面点灯時間を設定します。

#### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [画面設定]

#### 2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.69「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **画面の明るさ**: 本端末のディスプレイの明るさをバーをスライドして調整します。
- **画面点灯時間**: 本端末のディスプレイを何も操作しなかった場合に消灯するまでの時間を設定します。

### Language Setting

ディスプレイに表示する言語を設定します。

- お買い上げ時は[日本語]に設定されています。

#### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [Language Setting]

#### 2 [日本語] / [English]

### 時刻設定

現在日時について設定します。

#### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [時刻設定]

#### 2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.69「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **タイムゾーン自動設定**: 自動選択するか設定します。OFFに設定した場合は、[タイムゾーン選択]で利用するタイムゾーンを選択します。
- **24時間表示を使う**: 時刻表示を24時間制で表示するか設定します。

## ソフトウェア更新

---

ソフトウェア更新については、「ソフトウェア更新」(P.73)をご参照ください。

## スリープ設定

---

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするか設定します。

- 以下の場合、スリープモードになりません。
  - ・ 画面点灯中
  - ・ ACアダプタやクレードルでの充電中
  - ・ パソコンなどとUSB接続中
  - ・ クレードルを利用して有線LAN接続中
  - ・ モバイル給電中

### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [スリープ設定]

### 2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.69「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **スリープ設定**:スリープモードを利用するか設定します。
- **オフまでの時間**:スリープ設定が[ON]に設定されている場合に、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするまでの時間を設定します。

## USBモード

---

USB通信規格を設定します。

- お買い上げ時は[USB 3.0]に設定されています。

### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [USBモード]

### 2 現在の設定値([USB 2.0]/[USB 3.0])をタッチ

### 3 [USB 2.0]/[USB 3.0] ▶ [はい]

- 本端末が再起動します。

## クイック起動

---

ONに設定すると、次回電源を入れた際に起動までの時間を短くします。ただし、電源を切っている状態でもより多くの電力を消費します。

- お買い上げ時は[ON]に設定されています。

### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [クイック起動]

### 2 [クイック起動]の[ON] / [OFF]

## 詳細設定

---

設定ツール画面の表示方法を確認できます。

### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [詳細設定]

## 電池の状態

---

本端末の内蔵電池の状態を確認できます。

### 1 ホーム画面で[設定] ▶ [電池の状態]

- 表示される内容は目安です。
- 十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

## 国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、本端末を海外で利用するときに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。

国際ローミング(WORLD WING)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

### 対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3Gネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

## 海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850
パケット通信*	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、[国際ローミング]をONにしてください(☞P.64「国際ローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ホーム画面で確認できます(☞P.21「画面の見かた」)。

## 海外でご利用になる前に

### ■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

#### ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

#### 充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

#### 料金について

- 海外でのご利用料金(パケット通信料)は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。

### ■ 滞在国内の確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

#### 接続について

[ネットワーク検索]を[自動]に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します(☞P.64「通信事業者の設定」)。

# 海外で利用するための設定

## 国際ローミング

海外でパケット通信を行うためには、[国際ローミング]を[ON]に設定する必要があります。

- 1 ホーム画面で[設定]▶[モバイルネットワーク]▶[国際ローミング]▶ONに設定する
  - 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

## ネットワークモード

使用するネットワークを設定します。

- 1 ホーム画面で[設定]▶[モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]
- 2 以下の項目を設定
  - 4G/3G(Auto): 利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
  - 4G: LTEネットワークを利用します。
  - 3G: 3Gネットワークを利用します。

## 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- あらかじめ、本端末をパソコンなどと接続し、設定ツール画面でログインしてください(☎P.49「設定ツールを表示する」)。

- 1 設定ツール画面で[ネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[ネットワーク設定]を順にクリック
- 2 [ネットワーク検索]を[手動]に設定
- 3 [スキャン]をクリック
  - 利用可能なネットワークを検索して表示します。
- 4 通信事業者のネットワークを選択
- 5 [登録]をクリック

## 日付と時刻

日付と時刻の[タイムゾーン自動設定]を[ON]にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については☎P.61「時刻設定」

## お問い合わせ

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

## 帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

### 海外でパケット通信を利用した場合

- [国際ローミング]を[OFF]に設定してください(☎P.64「国際ローミング」)。

### 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- [ネットワークモード]を[4G/3G(Auto)]に設定してください(☎P.64「ネットワークモード」)。
- [ネットワーク検索]を[自動]に設定してください(☎P.52「ネットワーク設定」)。

メニュー一覧

メニュー一覧(Webブラウザ)

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	ポータブル デバイスで の表示	バック アップ/ リストア	参照 先	
ホーム						
Language	日本語、English	日本語	○	○	P.50	
接続端末						
接続端末	—	—	—	—	P.51	
MACアドレスフィルタリング						
MACアドレスフィルタリング	有効、無効	無効	—	○	P.51	
追加						
説明	32文字までの半角英数字／記号 (“;:&%+’\`?¥を除く) ※上記以外の文字については最大10文字に制限される場合があります。	—	—	○		
MACアドレス	6組の16進数2桁番号	—	—	○		
ネットワーク						
モバイルネットワーク						
ネットワーク設定						
ネットワークモード	4G／3G(Auto)、4G、3G	4G／3G(Auto)	○	○	P.52	
ネットワーク検索	自動、手動	自動	—	○		
国際ローミング設定						
国際ローミング	有効、無効	無効	○	○	P.52	
APN プロファイル設定						
APN	表示されるプロファイルから1つ選択	spモード	—	○	P.52	
新規						
プロファイル名	32文字までの半角英数字 ※上記以外の文字については最大10文字に制限される場合があります。	—	—	○		
APN名	100文字までの半角英数字／ドット(.)／ハイフン(-)	—	—	○		
ユーザー名	64文字までの半角英数字／記号 ※上記以外の文字については最大21文字に制限される場合があります。	—	—	○		

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	ポータブルデバイスでの表示	バックアップ／リストア	参照先	
	パスワード	32文字までの半角英数字／記号 ※上記以外の文字については最大10文字に制限される場合があります。	－	－	○	P.52	
	認証タイプ	None、Auto、CHAP、PAP	CHAP	－	○		
	IPタイプ	IPv4、IPv6、IPv4／IPv6	IPv4	－	○		
PIN管理							
	PINロック	有効、無効	無効	－	－	P.53	
	PIN	4～8文字の数字	－	－	－		
設定							
LAN設定							
DHCPサーバー							
	ホストIPアドレス	192.168.0.0～192.168.255.255	192.168.128.1	－	○	P.53	
	ホストサブネットマスク	255.255.0.0～255.255.255.255	255.255.255.0	－	○		
	DHCPサーバー	有効、無効	有効	－	○		
	DHCP範囲	192.168.0.0～192.168.255.255	開始： 192.168.128.100 終了： 192.168.128.200	－	○		
	リース時間(分)	2分～43200分(30日)	1440分	－	○		
ファイアーウォール							
	IPアドレスフィルタリング	有効、無効	無効	－	○	P.53	
	WANポートPINGブロック	有効、無効	無効	－	○		
IPアドレスフィルタリング							
	フィルターモード	拒否、許可	拒否	－	○	P.53	
ルールを追加							
	LAN IPアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255	－	－	○		
	LANポート	1～65535	－	－	○		
	WAN IPアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255	－	－	○		
	WANポート	1～65535	－	－	○		
	プロトコル	TCP／UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP／UDP	－	○		
	IPタイプ	IPv4、IPv6	IPv4	－	○		

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	ポータブルデバイスでの表示	バックアップ／リストア	参照先
ポートマッピング					
ルールを追加					
ルール名	32文字までの半角英数字／記号 (“,:;&%+’∕?¥を除く) ※上記以外の文字については最大10文字に制限される場合があります。	—	—	○	P.54
WANポート	1～65535	—	—	○	
LAN IPアドレス	192.168.0.0～ 192.168.255.255	192.168	—	○	
LANポート	1～65535	—	—	○	
プロトコル	TCP／UDP、TCP、UDP	TCP／UDP	—	○	
DMZ					
DMZ設定	有効、無効	無効	—	○	P.54
DMZ IPアドレス	192.168.0.0～ 192.168.255.255	192.168	—	○	
VPN/パススルー					
VPN/パススルー設定	有効、無効	有効	—	○	P.54
Wi-Fi設定					
基本設定					
Wi-Fi	有効、無効	有効	○	○	P.55
マルチSSID	有効、無効	無効	○	○	
SSID間通信隔離	有効、無効	無効	○	○	
接続可能台数(1-10)	1～10	10	○	○	
端末でSSIDとパスワードを表示する	有効、無効	有効	○	○	
インターフェイス	SSID A、SSID B	SSID A	○	—	
SSID	32文字までの半角英数字 ※上記以外の文字については最大10文字に制限される場合があります。	SSID A:SH-05La-XXXXXX SSID B:SH-05Lb-XXXXXX	○	○	
セキュリティ(暗号化方式)	Open、WEP、WPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)	WPA2-PSK(AES)	○	○	
パスワード	8～64文字の半角英数字／記号	ランダムな半角10文字	○	○	
WEPキー	5／10／13／26文字の半角英数字／記号	—	○	○	
SSIDステルス	有効、無効	無効	○	○	
プライバシーセパレーター	有効、無効	有効	○	○	
Web UIへのアクセス	許可、拒否	拒否	○	○	
Wi-Fi設定を初期値に戻す	—	—	○	—	

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	ポータブルデバイスでの表示	バックアップ／リストア	参照先
詳細設定					
Wi-Fiモード	2.4GHz、5GHz	2.4GHz	○	○	P.55
Wi-Fiチャンネル	2.4GHz:自動、CH 1～CH 13 5GHz:自動 ※国際ローミング中はCH 1～CH 11となります。	自動	○	○	
Wi-Fi帯域幅	2.4GHz:自動(20/40MHz)、20MHz 5GHz:自動(20/40/80MHz)、20MHz、40MHz	2.4GHz:自動(20/40MHz) 5GHz:自動(20/40/80MHz)	○	○	
スリープモード	有効、無効	有効	○	○	
スリープモードタイマー	5分、10分、15分	5分	○	○	
Wi-Fi送信出力	高、低	高	○	○	
TCP NATタイマー	30～86400	300	○	○	
UDP NATタイマー	30～86400	300	○	○	
WPS	－	－	○	－	
端末設定					
Web UIパスワード	8～32文字までの半角英数字／記号※	admin	○	－	P.56
通信量設定					
リセット	－	－	○	－	P.56
最大通信量	0MB以上	7GB	○	○	
USBモード					
USBモード	2.0、3.0	3.0	－	○	P.57
バックアップ・リストア					
バックアップ	－	－	－	－	P.57
リストア	－	－	－	－	
ソフトウェア更新					
自動更新	有効、無効	－	－	○	P.57
自動更新時間	00～23	－	－	○	
更新	－	－	－	－	
初期値に戻す					
オールリセット	－	－	－	－	P.58
再起動					
再起動	－	－	－	－	P.58
自動再起動	有効、無効	無効	－	○	
自動再起動時間	日数:1～30 時刻:00:00～23:59	日数:30 時刻:00:00	－	○	
端末情報	－	－	○	－	P.58

※「01.00.B0」以降のソフトウェアに更新された場合は、Web UIパスワードに英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める必要があります。ただし、ソフトウェアの更新前に登録したWeb UIパスワードは、英大文字／英小文字／数字／記号が含まれていなくても、変更するまで継続してご利用いただけます。

## メニュー一覧(本体メニュー)

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ/リストア	参照先
データ通信量				
データ通信量設定	1~999GB	7GB	○	P.60
接続リスト	—	—	—	P.59
端末情報	—	—	—	P.59
接続ガイド				
QRコードで接続	—	—	—	P.23
WPS	—	—	—	
手動接続				
SSID A	—	—	—	
SSID B	—	—	—	
有効	ON, OFF	OFF	○	
モバイル給電				
給電	—	—	—	P.60
給電停止するバッテリー容量	50%, 30%	50%	—	
設定				
モバイルネットワーク				
ネットワークモード	4G/3G(Auto)、4G、3G	4G/3G(Auto)	○	P.64
APNプロファイル選択	spモード、mopera U	spモード	○	P.61
国際ローミング	ON, OFF	OFF	○	P.64
Wi-Fi設定				
Wi-Fi	ON, OFF	ON	○	P.61
Wi-Fiモード	2.4GHz, 5GHz	2.4GHz	○	
画面ロック				
ロック	ON, OFF	OFF	○	P.61
パスワード変更	4文字の数字	—	○	
画面設定				
画面の明るさ	最小(0段目)~最大(10段目) (スライダーの可動範囲)	3段目	○	P.61
画面点灯時間	15秒、30秒、60秒、90秒、120秒	90秒	○	
Language Setting	日本語、English	日本語	○	
時刻設定				
タイムゾーン自動設定	ON, OFF	ON	○	P.61
タイムゾーン選択	各国のタイムゾーン	—	○	
24時間表示を使う	ON, OFF	ON	○	
ソフトウェア更新				
ソフトウェアバージョン	—	—	—	P.73
自動更新	ON, OFF	—	○	
ソフトウェアを自動的に更新する時間を指定します(0-23時)	00~23	04	○	
スリープ設定				
スリープ設定	ON, OFF	ON	○	P.62
オフまでの時間	5分、10分、15分	5分	○	
USBモード	USB 2.0, USB 3.0	USB 3.0	○	P.62
クイック起動	ON, OFF	ON	○	P.62
詳細設定	—	—	—	P.62
電池の状態	—	—	—	P.62

# トラブルシューティング(FAQ)

## 故障かな?と思ったら

- 故障かな?と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.73「ソフトウェア更新」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

## ■ 電源

- 本端末の電源が入らない
  - 電池切れになっていませんか。(☞P.17「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
  - □(電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
    - 手を離すと、電源が切れます。
    - 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

## ■ 充電

- 充電ができない
  - アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
  - アダプタと本端末が正しくセットされていますか。(☞P.18「ACアダプタで充電」)
  - ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。(☞P.18「ACアダプタで充電」)
  - 付属のクレードル SH01をご使用の場合、クレードルの電源用USB Type-C接続端子とACアダプタのType-Cプラグがしっかりと接続されていますか。(☞P.17「クレードルで充電」)
  - 付属のクレードル SH01をご使用の場合、本端末のUSB Type-C接続端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
  - USBケーブル A to C 02(別売)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
  - 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.17「充電時のご注意」)
  - NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

## ■ 端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
  - 操作中や充電中、本端末や内蔵電池、アダプタやクレードルが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。(☞P.17「充電時のご注意」)
- 電池の使用時間が短い
  - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんが、圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
    - 圏外が続く場所では電源を切ってください。(☞P.20「電源を切る/再起動する」)
  - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。(☞P.75「主な仕様」)
  - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。(☞P.17「内蔵電池の寿命」)
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
  - 端末の電源が切れていませんか。(☞P.20「電源を入れる」)
- USB接続ケーブルで接続したパソコンが本端末を認識しない
  - 本端末が、USBケーブル A to C 02(別売)で正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。(☞P.47「USB接続ケーブルで接続/通信する」)
  - USBケーブル A to C 02(別売)をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。
  - USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ドコモnanoUIMカードが認識しない
  - ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。(☞P.14「ドコモnanoUIMカード」)
- 時計がずれる
  - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[タイムゾーン自動設定]が[ON]になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。(☞P.61「時刻設定」)

## ■ 接続、通信

- Wi-Fi対応機器を接続できない
  - 本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能がONになっていることを確認してください。また、Wi-Fi対応機器のWi-Fi仕様が本端末と合致しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。【P.24「対応機器を確認する」】
  - 正しいパスワードを入力しているか、確認してください。パスワードは下記の操作で確認できます。ホーム画面で[接続ガイド] ▶ [手動接続] ▶ 接続するSSIDを選択(【SSID B】を選択した場合は、[有効]をONに設定してください。)
  - [セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)]に設定している場合は、お使いのWi-Fi対応機器がWPAおよびWPA2-PSKのセキュリティ(暗号化方式)に対応しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。
- インターネットに接続ができない(場所を移動しても[圏外]の表示が消えない)/通信が切れたり、通信速度が遅く感じる
  - 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを入れ直してください。【P.14「ドコモnanoUIMカード」、P.20「電源を入れる/切る」】
  - 電波の性質により、「圏外ではない」[電波状態は ] を表示している状態でもインターネットに接続できない場合があります。場所を移動してください。
  - 時間帯によっては、電波の混み具合により、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間を置いて再度接続してください。
- [圏外]が表示される
  - スリープモードになったあと、何も操作しない状態で約30分経過すると、モバイルネットワークを切断して省電力状態になります。○(電源キー)を押し画面を点灯したり、充電を開始すると、モバイルネットワークに接続します。
- 接続/切断したWi-Fi対応機器の表示が変わらない
  - 本端末にWi-Fi対応機器を接続、本端末からWi-Fi対応機器を切断しても接続台数の表示などが変わらないことがあります。数分経過すると正しく表示されます。

## ■ 画面

- ディスプレイが暗い
  - [画面点灯時間]を短く設定していませんか。【P.61「画面設定」】
  - [画面の明るさ]を変更していませんか。【P.61「画面設定」】

## ■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない(電波マークが表示されている場合)
  - 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込み状況をご確認ください。【P.63「国際ローミング(WORLD WING)の概要」】
- 海外で本端末が使えない([圏外]が表示されている場合)
  - 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にありますか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。【P.63「国際ローミング(WORLD WING)の概要」】
  - ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。[ネットワークモード]を[4G/3G(Auto)]に設定してください。[ネットワーク検索]を[自動]に設定してください。【P.52「ネットワーク設定」、P.64「ネットワークモード」】
  - 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。【P.20「電源を入れる/切る」】
- 海外でデータ通信ができない
  - [国際ローミング]をONにしてください。【P.64「国際ローミング」】
- 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった
  - 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

## エラーメッセージ

### ■ 本端末の表示

- [PINロック解除コード(PUK)がロックされています。お近くのドコモショップまでご来店ください。]
  - PINロック解除コード(PUKコード)の入力回数が最大数に達しました。お近くのドコモショップまでご来店ください。]
  - PINロック解除コードの入力を、10回連続間違った場合に表示されます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。【P.16「PINロック解除コード(PUKコード)」】
- [PUKが無効です。残りの回数:x]
  - PINロック解除コードが正しくありません。正しいPINロック解除コードを入力してください。]
- [給電開始できません。ケーブルを抜いてください。]
  - [モバイル給電]を利用する際に、接続している機器に給電できない場合に表示されます。接続しているケーブルを抜いて、[モバイル給電]の使用をやめてください。【P.60「モバイル給電」】
- [更新するソフトはありません。]
  - ソフトウェアを更新しようとした際に、現在の利用しているソフトウェアが最新状態のときに表示されます。そのままご使用ください。【P.74「ソフトウェア更新を行う」】
- [パスワードが一致しません]
  - [画面ロック]の[新しいパスワードを入力]と[新しいパスワードを再入力]が異なっています。正しいパスワードを入力してください。【P.61「画面ロック」】

## ■ 設定ツール(Webブラウザ)の表示

- [PINが正しくありません(4-8文字)。]  
[PINが正しくありません。]
  - PINコードが正しくありません。正しいPINコードを入力してください。
- [PINロック解除コード(PUK)が正しくありません]  
[PINロック解除コード(PUK)が正しくありません(8文字)。]
  - PINロック解除コードが正しくありません。正しいPINロック解除コードを入力してください。
- [開始IPアドレスが空または無効です。]
  - [DHCP範囲]で開始IPアドレスが正しくありません。正しい開始IPアドレスを入力してください。☞P.53「DHCPサーバー」
- [現在のパスワードが違います。]
  - [Web UI/パスワード]の[現在のパスワードを入力]が異なります。正しいパスワードを入力してください。☞P.56「Web UI/パスワード」
- [端末の画面を消してください。]
  - 本端末のディスプレイが表示されています。本端末のディスプレイが表示されていると、設定ツールを利用できません。本端末のディスプレイを非表示にしてください。☞P.20「ディスプレイの表示/非表示」
- [パスワードが一致しません]
  - [Web UI/パスワード]の[新しいパスワードを入力]と[新しいパスワードを再入力]が異なっています。正しいパスワードを入力してください。☞P.56「Web UI/パスワード」
- [ホストIPアドレスが無効です。]
  - [ホストIPアドレス]が正しくありません。正しい[ホストIPアドレス]を入力してください。☞P.53「DHCPサーバー」
- [ホストサブネットマスクが無効です。]
  - [ホストサブネットマスク]が正しくありません。正しい[ホストサブネットマスク]を入力してください。☞P.53「DHCPサーバー」
- [リース時間が無効です。リース時間は2分以上43200分(30日)以下にしてください。]
  - [リース時間(分)]が2分未満になっています。[リース時間(分)]は2分以上にしてください。☞P.53「DHCPサーバー」

## 保証とアフターサービス

### 保証について

- 本端末をお買い上げいただく、「ご利用にあたっての注意事項」が付属されており、その中に保証書が含まれています。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
  - 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  - SIM取り出しツールは無料修理保証の対象外となります。
  - SIM取り出しツールは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
  - 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
  - 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって設定された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、設定などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、設定された内容などのデータをパソコンに保存していただくことができます。

### アフターサービスについて

#### ■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。  
それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

#### ■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

#### 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 保証期間内であっても、お客様のお取り扱い不良(外部接続端子・ディスプレイなどの破損)による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

## 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

## 保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

## 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

## ■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承くださいの上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・ ディスプレイ部やボタン部、キー部にシールなどを貼る
    - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスが変更される場合があります。
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

## ソフトウェア更新

ソフトウェア更新とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェア更新の種類としては以下の2つがあります。

- 新機能追加  
端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善  
端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェア更新の内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

## ■ ご利用条件

- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、[APNプロファイル選択]を[spモード]もしくは[mopera U]に設定してください（※P.61「モバイルネットワーク」）。
- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合でも、ダウンロードによる通信料金が発生します。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェア更新は、本端末に設定された内容を残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。

## ソフトウェア更新を行う

### ■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの方法で行います。

- 自動的に更新  
更新情報が本端末に届くと自動でソフトウェアを更新します。  
あらかじめ、[ソフトウェア更新]の[自動更新]をONに設定してください。  
また、[ソフトウェアを自動的に更新する時間を指定します(0-23時)]▶更新する時刻を選択して更新時刻を設定してください。
  - すぐに更新する  
ホーム画面で[設定]▶[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新]▶[OK]
- ※ソフトウェア更新が不要な場合、[更新するソフトはありません。]と表示されます。

- ソフトウェア更新は設定ツールからも同様に操作できます(☞P.57「ソフトウェア更新」)。

### ■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

## 1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。

## 2 再起動

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。  
※再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内にキャンセルボタンをタッチしてください。

### ■ 注意事項

- ソフトウェア更新完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェア更新中、本端末固有の情報(機種や製造番号など)が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- 再起動中は各種機能を利用できません。
- ソフトウェア更新を行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードの入力を求められる場合があります。
- ソフトウェア更新に失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- 以下の場合はソフトウェア更新ができません。事象を解消後に再度お試しください。
  - 必要な電池残量がないとき
  - 国際ローミング中
  - [圏外]が表示されているとき
  - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新中は電源を切ったりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

## 主な仕様

### ■ 本体

ソフトウェア更新などにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

品名	SH-05L	
サイズ	高さ:約72mm、幅:約108mm、厚さ:約15mm	
質量	約150g	
ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	約2.4インチ
	発色数	262,144色
	解像度	横320ピクセル×縦240ピクセル(QVGA)
バッテリー容量	4000mAh	
連続待受時間 ※1※2※3	LTE	静止時:約1200時間(ネットワークモード:4G/3G(Auto))
	3G	静止時:約1520時間(ネットワークモード:4G/3G(Auto))
連続通信時間	PREMIUM 4G	約300分
	LTE	約920分
	3G	約1020分
充電時間	ACアダプタ 07:約175分	
通信速度	無線LAN※4	IEEE802.11a:最大54Mbps IEEE802.11b:最大11Mbps IEEE802.11g:最大54Mbps IEEE802.11n:最大300Mbps(2.4GHz帯、5GHz帯) IEEE802.11ac:最大867Mbps
		PREMIUM 4G
	LTE	受信時最大150Mbps 送信時最大50Mbps
	3G	受信時最大14.4Mbps 送信時最大5.7Mbps

対応周波数 (国内)	PREMIUM 4G (受信時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 256QAM</li> <li>• 4×4 MIMO(バンド42)</li> <li>• 4×4 MIMO(バンド3)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド3(1.7GHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド19(800MHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド21(1.5GHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド28(700MHz)</li> <li>• バンド3(1.7GHz)+バンド19(800MHz)</li> <li>• バンド3(1.7GHz)+バンド28(700MHz)</li> <li>• バンド19(800MHz)+バンド21(1.5GHz)</li> <li>• バンド21(1.5GHz)+バンド28(700MHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド3(1.7GHz)+バンド19(800MHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド3(1.7GHz)+バンド28(700MHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド19(800MHz)+バンド21(1.5GHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド21(1.5GHz)+バンド28(700MHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド3(1.7GHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド19(800MHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド21(1.5GHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド19(800MHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド21(1.5GHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド3(1.7GHz)+バンド19(800MHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド19(800MHz)+バンド21(1.5GHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド3(1.7GHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド3(1.7GHz)+バンド19(800MHz)+バンド42(3.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> <li>• バンド1(2.0GHz)+バンド19(800MHz)+バンド21(1.5GHz)+バンド42(3.5GHz)</li> </ul>
	PREMIUM 4G (送信時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 64QAM</li> </ul>
	LTE	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バンド1(2.0GHz)</li> <li>• バンド3(1.7GHz)</li> <li>• バンド19(800MHz)</li> <li>• バンド21(1.5GHz)</li> <li>• バンド28(700MHz)</li> <li>• バンド42(3.5GHz)</li> </ul>
	3G	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バンド1(2GHz)</li> <li>• バンド6(800MHz)</li> <li>• バンド19(800MHz)</li> </ul>
対応周波数 (海外)	FD-LTE	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バンド1(2.0GHz)</li> <li>• バンド2(1.9GHz)</li> <li>• バンド3(1.7GHz)</li> <li>• バンド4(AWS)</li> <li>• バンド5(850MHz)</li> <li>• バンド8(900MHz)</li> <li>• バンド12(700MHz)</li> <li>• バンド17(700MHz)</li> <li>• バンド28(700MHz)</li> </ul>
	3G (W-CDMA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バンド1(2GHz)</li> <li>• バンド2(1.9GHz)</li> <li>• バンド4(AWS)</li> <li>• バンド5(850MHz)</li> <li>• バンド8(900MHz)</li> </ul>
USB	USB 3.0 Super Speed(Type-C端子)	
最大同時接続台数	11台(Wi-Fi: 10台, USB: 1台)	
VPN対応プロトコル	PPTP, L2TP, IPSec	

- ※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。  
 ※2 連続待受時間は、設定状況、使用環境や各種機能のご利用頻度により、大きく変動します。  
 ※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。  
 ※4 MIMOに対応しています。

## ■ クレードル SH01

サイズ	高さ:約33mm、幅:約81mm、厚さ:約65mm
質量	約60g
入力電圧／電流	DC5.0V／3.0A
出力電圧／電流	DC5.0V／1.5A
有線LAN方式	IEEE802.3ab(1000BASE-T)
	IEEE802.3u(100BASE-TX)
	IEEE802.3(10BASE-T)

## ■ SIM取り出しツール(試供品)

長さ	約33mm
質量	約1g

## データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種SH-05Lは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は0.880W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から15cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

## Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals

### This model SH-05L device complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This device was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (※1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile terminals is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 0.880 W/kg (※2). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this device while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network.

Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device. During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This device satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

---

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

SHARP Corporation Website:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

---

### European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 0.90 W/kg※.

During communication for body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

---

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

## Regulatory information

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-05L is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:  
<https://jp.sharp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,

1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

### ● Description of accessories

USB cable	For charging, peripherals, etc.
nano UIM card	docomo nano UIM card/non-docomo nano UIM cards non-docomo nano UIM cards can be used after SIM-unlocking the terminal.
Cradle	For charging, peripherals, etc.

### ● Frequency range of supported bands in EU

WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 28	Tx 704.5 to 746.5 MHz Rx 759.5 to 801.5 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW:20MHz) Tx/Rx 2422 to 2462 MHz (BW:40MHz)

### ● Maximum transmit power

WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 28	+23 dBm (Power Class3)
WLAN 2.4 GHz	+18.5 dBm

---

## FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  - (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

## Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

## FCC RF Exposure Information

Your device is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model device when tested for intended use described in the instruction manual is 1.05 W/kg.

For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. During communication, please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the device a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> on FCC ID APYHRO00274.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

## FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed in the About Device menu.

## CAUTION

### Use only optional parts specified by NTT DOCOMO.

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

### Do not throw the device into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

### Do not dispose of the device in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. Also, may damage to the environment. Take the unnecessary device to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used devices.

### Avoid using the device in extremely high or low temperatures.

Use the device within the range of a temperature between 5° C and 35° C and a humidity between 45% and 85%.

### Charge battery in areas where ambient temperature is between 5° C and 35° C.

## Inquiries

### General inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

#### 0120-005-250 (toll free)

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

#### (No prefix) 151 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

#### 0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

● Please confirm the phone number before you dial.

## Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

#### (No prefix) 113 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

#### 0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

● Please confirm the phone number before you dial.

● For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.

NTT DOCOMO website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/>

## Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

Display "+" on the screen -81-3-6832-6600 (toll free)

(to enter "+", touch and hold "0".)

※ You can call using international call access code instead of "+".

From land-line phones

International call access code  
for the country you stay -81-3-6832-6600 (charges apply)

※ You are charged a call fee to Japan.

※ For international call access codes, refer to DOCOMO website.

● Please confirm the phone number before you dial.

● If you lose your device or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the device.

● If the device you purchased is damaged, bring your device to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

## 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

## 知的財産権について

### 著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

### 商標について

- 「FOMA」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「WORLD WING」、「spモード」、「Premium 4G」、「Wi-Fi STATION」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、macOS、iPad、iPhone、iPod touch、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Nintendo Switch、ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access®(WPA)、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected Setupロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chromelは、Google LLCの商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

### その他

- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
  - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

### オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、下記サイトをご参照ください。  
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/sh05l/index.html>
- GPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。  
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/sh05l/index.html>

## SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 本端末のSIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- SIMロック解除には日数がかかりますので、あらかじめご了承ください。

# 索引

## あ

安全上のご注意(必ずお守りください).....	5
一般的なWi-Fi対応機器を接続する.....	25
インターフェイス.....	55
お問い合わせ.....	64
オフまでの時間.....	62
主な仕様.....	75

## か

海外でご利用になる前に.....	63
海外で利用可能なサービス.....	63
海外利用.....	63
各部の名称と機能.....	13
画面設定.....	61
画面点灯時間.....	61
画面の明るさ.....	61
画面の見かた.....	21
画面ロック.....	61
帰国後の確認.....	64
クイック起動.....	62
クレードルで充電.....	17
クレードルを使用して接続/通信する.....	48
国際ローミング.....	64
国際ローミング(WORLD WING)の概要.....	63
国際ローミング設定.....	52

## さ

時刻設定.....	61
充電.....	17
詳細設定.....	62
数字の入力.....	22
スリープ設定.....	62
スリープモード.....	55
スリープモードタイマー.....	55
セキュリティ(暗号化方式).....	55
接続可能台数(1-10).....	55
接続端末.....	51
設定.....	53, 61
設定ツール画面の見かた.....	50
設定ツールについて.....	49
設定ツールを表示する.....	49
セットアップについて.....	23
ソフトウェア更新.....	73

## た

対応機器を確認する.....	24
対応するWebブラウザ.....	49
タイムゾーン自動設定.....	61
タッチパネルの使いかた.....	22
端末情報.....	58
端末設定.....	56
端末でSSIDとパスワードを表示する.....	55
知的財産権について.....	82
通信事業者の設定.....	64
データ通信端末の比較収率(SAR)について.....	77
データ通信量.....	60
電源を入れる/切る.....	20
電池の状態.....	62
ドコモnanoUIMカード.....	14
トラブルシューティング(FAQ).....	70
取り扱い上のご注意.....	10

## な

ニンテンドー3DSを接続する.....	43
ネットワーク.....	52
ネットワーク検索.....	52
ネットワークモード.....	52, 64

## は

パスワード.....	55
パソコンに接続して充電.....	19
日付と時刻.....	64
プライバシーセパレーター.....	55
プロトコル.....	53, 54
ホストIPアドレス.....	53
ホストサブネットマスク.....	53
本端末のご利用について.....	2
本端末の本体メニューについて.....	59

## ま

マルチSSID.....	55
メニュー一覧.....	65
メニュー一覧(Webブラウザ).....	65
メニュー一覧(本体メニュー).....	69
目次.....	1
モバイル給電.....	60
モバイルネットワーク.....	52, 61

## や

輸出管理規制.....	82
-------------	----

## ら

リース時間(分).....	53
ルール名.....	54

## 英数字

ACアダプタで充電.....	18
Android搭載端末を接続する.....	37
APNプロファイル選択.....	61
DCアダプタで充電.....	19
DHCPサーバー.....	53
DHCP範囲.....	53
DMZ IPアドレス.....	54
DMZ設定.....	54
iPhone/iPod touch/iPadを接続する.....	39
IPアドレスフィルタリング.....	53
IPタイプ.....	54
Language Setting.....	61
LAN IPアドレス.....	53, 54
LAN設定.....	53
LANポート.....	53, 54
Macを接続する.....	35
Nintendo Switchを接続する.....	41
PIN.....	53
PINロック.....	53
SIMロック解除.....	82
SSID.....	55
SSID間通信隔離.....	55
SSIDステルス.....	55
TCP NATタイマー.....	55
UDP NATタイマー.....	56
USB接続ケーブルで接続/通信する.....	47
USBモード.....	62
WAN IPアドレス.....	53

WANポート.....	53, 54
WANポートPINGブロック.....	53
Web UIへのアクセス.....	55
WEPキー.....	55
Wi-Fi.....	55, 61
Wi-Fi設定.....	55, 61
Wi-Fi送信出力.....	55
Wi-Fi帯域幅.....	55
Wi-Fiチャネル.....	55
Wi-Fiモード.....	55, 61
Windowsを接続する.....	26
WORLD WING.....	63
3G.....	64
4G.....	64
4G/3G(Auto).....	64
24時間表示を使う.....	61

## オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・ 各種お手続きなど

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID/パスワード」が必要です。

## マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

### こんな場合は必ず電源を切りましょう

#### ■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

#### ■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、操作をすることは、罰則の対象となります。

#### ■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。



モバイル・リサイクルネットワーク  
携帯電話の回収・リサイクルに関するサービス

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

## 総合お問い合わせ先 ＜ドコモ インフォメーションセンター＞

### ■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの)151(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

### ■一般電話などからの場合

 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

## 故障お問い合わせ・修理お申込み先

### ■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの)113(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

### ■一般電話などからの場合

 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

## 海外からのお問い合わせ先(紛失・盗難・つながらない場合など)

### ■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

**-81-3-6832-6600(無料)**

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

### ■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号

**-81-3-6832-6600(有料)**

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

## 試供品のお問い合わせ先

シャープ データ通信サポートセンター

TEL 050-5846-5411

受付時間 平日 10:00～17:00 (土・日・祝日および所定の休日を除く)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、  
周囲の方への心くばりを忘れずに。



キケン!  
水ぬれ充電



あぶない!  
電池への衝撃



Li-ion00

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 シャープ株式会社